

#### 児童保護と児童 安全方針

子どもの安全な文化を作ることは、もちろん単に一連のポリシーと手順を整備する以上のものです。 全スタッフ members、ボランティア、B・オールドのメンバーが子どもの安全を促進し、確保する責任を負う文化を作り出すのです。 また、子どもたちの参加とエンパワーメントを促進し、子どもの安全に関する意思決定だけでなく、,組織計画も行います。 子どもたちが組織で権限を与えられると、彼らは彼らの安全に関する懸念を報告する可能性が高くなります(ポール・ロナルド、CEO セーブ・ザ・チルドレン・オーストラリア、2018 年 4月)。

#### セクション 1 - 子どもの安全方針

ナザレ大学の児童安全に関する方針と手順を概説する。 原則、定義、コミットメント、責任、手順、スタッフのトレーニング、リスク管理、関連する法律および関連するポリシーが含まれます。 また、2016 年 8 月 1 日にビクトリア州で施行された 3 つの新しい刑事犯罪に関する情報とガイダンスを提供する付録、ならびに関連閣僚命令 870 および子どもの安全に対する CECV のコミットメントも含まれています。

#### セクション 2 - 児童保護-報告義務

関連する法律の様々な部分の下での報告義務の詳細な説明.

#### セクション 3 - 児童安全行動規範

ナザレ大学 C 免除のすべてのメンバーが、学生を性的、肉体的、心理的、家族的暴力、感情的虐待、無視から保護するための取り組みに従うことが期待される行動規範の概要を説明しています。 これは、C の免責内のすべての関係者が C 署名するように求められるという合意で終わります。



2014年11月実施の方針

最終レビュー 2019 年 12 月

責任ある役員 コンプライアンス・オフィサー

2020年6月に取締役会に批准

審査期限 2021 年 6 月

#### ナザレ大学 児童保護と児童安全方針

#### 且次

#### セクション1-子どもの安全方針

| はじめに                  | 6  |
|-----------------------|----|
| ポリシーの目的               | 6  |
| ポリシーの原則               | 6  |
| 子どもの安全への取り組み          | 7  |
| このポリシーで使用される一般的な定義    | 8  |
| ポリシーコミットメント           | 9  |
| ナザレ大学児童安全へのコミットメント    | 10 |
| 私たちの学生へのコミットメント       | 10 |
| 両親と介護者への私たちのコミットメント   | 10 |
| 私たちの学校スタッフへのコミットメント   | 11 |
| 責任と組織の取り決め s          | 11 |
| R 学校リーダーシップの配偶者       | 11 |
| 学校職員の責任               | 12 |
| 組織の取り決め               | 12 |
| 学校職員の期待               |    |
| 学生の安全と参加              |    |
| 報告と応答                 |    |
| 学校職員の選考・募集 1          |    |
| 子どもの保護 – 子供たちと一緒に働く 1 |    |
| 児童安全教育·学校職員研修         |    |
| リスク管理                 |    |
| 関連する法律                | 20 |



P4.8

| ケアの義務                              |   |
|------------------------------------|---|
| ケアの義務                              | 28  |
|                                    |   |
| 教育訓練改革法 2006(vic.)犯罪法 1958 年(Vic.) | 28  |
| グルーミング                             | 28  |
| 呆護の失敗                              | 28  |
| 開示の失敗                              | 27  |
|                                    |   |
|                                    |   |
|                                    |   |
| <b>基報告義務の原因</b>                    | 26  |
| <b>寺の種類と危害の指標</b>                  | 25  |
|                                    |   |
| -                                  | 24  |
| <u>2 - 児童保護報告義務</u>                |   |
|                                    |   |
|                                    |   |
|                                    |   |
|                                    |   |
|                                    |   |
|                                    |   |
|                                    |   |
|                                    |   |
|                                    |   |
|                                    |   |
|                                    |   |
|                                    |   |
|                                    |   |
|                                    |   |
|                                    |   |
|                                    |   |
|                                    | 7針<br>カトリック教育メルボルン政策<br>学校方針<br>一違反<br>一。22<br>一の更新<br>。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。 |



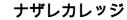
P4.8

| 子供 P のロテクション事件に気づく                  | 29            |
|-------------------------------------|---------------|
| ノート&レコード                            | 30            |
| 4 つの重要なアクション                        | 30            |
| 臨界アクション 1: 緊急時 3 0 への R の取り付け       |               |
| 重大なアクション 2: 当局への報告                  | 30            |
| M とアダトリー Rエパロ t                     | 31 を作る方法      |
| フローチャート – M および R Report の懸念に応答     | 32            |
| M アンドアトリー R エポート                    |               |
| レポートが必要な場合でも、義務付けられていない場合           |               |
| 刑事犯罪を報告する場合                         | 36            |
| 強制報告と刑事犯罪に関する報告の作成方法                | 36            |
| M アンドアトリー Rエポート36を                  | 36 作 <b>る</b> |
| チャイルドファースト/オレンジドア                   | 39            |
| 追加レポートの作成                           | 40            |
| クリティカルアクション 3:親/C アラー               | 40 に連絡する      |
| 重要なアクション 4: 継続的なサポートの提供             | 41            |
| レポート作成の潜在的な結果                       | 41            |
| 苦情や懸念への対応                           | 42            |
| 指導原則                                | 43            |
| 調査                                  | 44            |
| 現在の学生に関する事件                         | 45            |
| 過去の学生に関する事件                         | 45            |
| 現職員が関与する事件                          | 45            |
| リファレンス                              | 46            |
| 付録1学校 と PROTECT テンプレートのための 4 つの重要なア | 'クション         |
| 付録 2 報告基準 – 開示の失敗                   |               |
| <b>付録 3</b> 学校内部プロセスと関連文書の指針        |               |
| <b>付録 4</b> 子どもの保護連絡先               |               |
| <b>付録</b> 5 子供ファースト/オレンジドアコンタクト     |               |
| <b>付録 6</b> 警察と DHHS のインタビュープロトコル   |               |
| 付録 7 児童保護または児童ファーストへの報告を行うステップバー    | イステップガイド      |



#### セクション 3 - 子供の安全 - 行動規範

| 児童安全行動規範 4                                      | 8    |
|---|------|
| 目的 4  | 8    |
| 学生の安全と幸福を守る 4                                   | 8    |
| ナザレ共同体のメンバーに声を与え、子どもの安全に関する懸念を提起する              | 49   |
| 児童の安全に関するリスク管理と雇用における、シンプルで効果的 $0$ な慣行 $\sigma$ | )実施  |
| 児童安全行動規範 52                                     |      |
| 職員/学生の交流の開示 5                                   | 5    |
| C ヒルド P ロテクションと C ヒルド S アフェティポリシーの子供に優しいバージョン   | v5 6 |
| 児童虐待のリスクを軽減または除去                                | る 59 |
| ナザレ大学 児童安全リスク評価 6                               | 1    |
| 児童虐待のリスクを特定し、軽減または除去するプロセス 6                    | 1    |
| リスクアセスメント 6                                     | 2    |
| 潜在的な子どもの安全リスクとリスク管理戦略 6                         | 2    |
| 子どもの安全リスクレジスタ 6                                 | 3    |
| リスクレベルマトリックス 6                                  | 8    |
| 関連資料  |      |
| 児童保護及び児童安全方針の見直し                                | 69   |
| <u> </u>  | 69   |
| 付錫 ワンチャイルドゥアフェティロ str M アナゲソントゥ タギーブ            |      |





児童保護・安全ポリシー

P4.8

## セクション1

# 子供の安全



#### 紹介

ナザレ大学は、メルボルン大司教区のカトリック共学中等教育コレッグとして、カトリック教育の中心的かつ基本的な責任として、子供や若者のケア、安全、幸福を保持しています。私たちのコミットメントは、キリストの教えと使命から引き出され、キリストの教えと使命に内在し、愛、正義、そして一人一人の神聖さを、子供の安全に対する福音の幹事であるCECV コミットメント声明(付録 1)の中心に置かれています。

個々の人間の人は、彼または彼女の物質的および精神的なニーズの中心にある- 人間の昇進はカトリック学校の目標である理由です(カトリック教育のための会衆 1997、n. 9)。

ナザレ大学は、に努めています。

- イエスの教えに触発された信仰中心の希望に満ちたコミュニティを作る。
- 学生が自分の可能性を最大限に引き出し、到達するために挑戦し、支援し、力を与える 質の高い教育を提供する。
- 包括的で安全な環境を育てる。
- 学校、保護者、介護者とのより広い C の免疫との間の本物のパートナーシップを構築します。

#### ポリシーの目的

この方針の目的は、ナザレ大学のスタッフが、学校 C の免除と共に、カレッジのすべての学生のケア、安全、幸福に対する強いコミットメントを実証することです。 これは、私たちの学校環境、キャンパス、オンライン、および学校が提供する他の場所での虐待のすべ



ての形態を含む、害から学生を安全に保つために開発された手順と戦略の概要を提供します。。

このポリシーは、ビクトリア州内の関連する立法要件を考慮に入れて、閣僚令第 870 に定められたビクトリア朝の子どもの安全基準の具体的な要件を含む。

このポリシーは、学校職員 members、ボランティア、請負業者、聖職者を含むすべての学校 all 職員に適用されます。

#### Pオリシーの原則

ナザレ大学は、子どもや若者が尊敬され、彼らの声が聞こえ、安全で安全な *CECV 児童安全へのコミットメント*を感じる育成学校環境を作り出す道徳的、法的責任を負っています(付録 1)。

児童の安全に対する学校の取り組みは、子どもたちを虐待から守るための作業システム、慣行、手順の開発と定期的な見直しに対する当社のコミットメントを支える以下の原則に基づいています。

- すべての学生は、基本的権利として、あらゆる形態の虐待や無視から安全と保護に値する。
- 子供の福祉と最善の利益は最も重要です。
- ナザレ大学は、家族や C の免疫と協力して、意思決定プロセス、特に児童の安全と保護 に影響を与えるプロセスに従事していることを保証するために取り組んでいます。
- すべての学生は、両親/保護者/介護者と協力して、個人の安全のあらゆる面で徹底的かつ体系的な教育を受ける権利を有します。
- 教育や非教員、聖職者、ボランティア、請負業者を含む私たちの学校のすべての大人は、子供や若者の世話をし、積極的に彼らの幸福を促進し、あらゆる種類の害や虐待からそれらを保護する責任があります。
- 学生のケア、幸福、保護のための方針、ガイドライン、行動規範は、大人と子供と若者 の間の正直で敬意と信頼の関係に基づいています。
- 政策と慣行は、法令の遵守と教会、政府、警察、ヒューマンサービス機関との協力を示しています。
- 危害が疑われる、または開示される状況に関与するすべての人は、感受性、尊厳、敬意 をもって扱われなければならない。
- スタッフ、聖職者、ボランティア、請負業者、保護者、学生は、Leadership Team によって真剣に受け止められることを知って、子供の安全に関する懸念を自由に提起する必要があります。
- 適切な機密性が維持され、法的または牧歌的に、権利または必要な情報を持つ人に提供 されます。



- 子供の見解と子供のプライバシーは尊重されなければならない。
- 子どもに対する適切な行動に対する明確な期待は、当社の児童安全行動規範ポリシー に 定め、第3条に
- 子供の安全は、子どもの安全な文化の存在に依存する。
- 児童の安全意識が推進され、当校 C の排他性の中で公然と議論される。
- すべてのスタッフをスクリーニングするための手順が整っています, direct contact volunteers\*\*,第三者の請負業者や子供たちと直接接触している外部教育プロバイダ;
- 子どもの安全と保護は、すべての人の責任です。
- members 児童保護訓練は、すべての学校 B のメンバー 、スタッフ、d direct contact volunteers に必須です\*\*
- 児童虐待の疑いのある事件や疑わしい事件に対応するための手順は、学校 C の免除のすべてのメンバーにとって簡単でアクセス可能です。
- 文化的または言語的に多様な背景を持つ子供たちは、アボリジニまたはトレス海峡諸島 民として識別する人を含む特別なケアと支援を受ける権利を有する。
- あらゆる種類の障害を持つ子供は、特別なケアとサポートを受ける権利があります。

\*直接接触ボランティアは、学生に直接支援、指導、監督を提供することに関与し、ボランティアサービスを提供する通常のコース中に学生と直接教師なしで接触する可能性のあるボランティアです。 直接接触ボランティア活動の例としては、修学キャンプや小旅行に参加するボランティア、スポーツチームの指導、学習活動の支援などがあります。

#### 子どもの安全へのこだわり

ナザレ大学は子供の安全な学校です。ナザレ大学に入学するすべての学生は、安全で安全であると感じる権利を持っています。 私たちの世話の子供たちの幸福は、常に私たちの最優先事項であり、私たちは、児童虐待を容認し、虐待のすべての形態からすべての子供の保護にコミットし続けます。 子どもの安全で子どもに優しい環境を作り、子どもたちの安全を気にせず、自由に生活を楽しめる環境を作り出すことを目指しています。 アボリジニやトレス海峡諸島民の子供たち、文化的および/または言語的に多様な背景を持つ子供たち、 障害を持つ子供たちを含む最も脆弱な子供たちに特に注意が払われています。

児童虐待には、性犯罪、身だしなみ、身体的暴力、深刻な感情的または心理的危害、深刻な無視、子供の家庭内暴力への暴露が含まれます。 ナザレ大学は、あらゆる形態の児童虐待からすべての子どもたちを保護することに取り組んでおり、子どもたちを安全に保つために設計された包括的な児童保護ポリシーの実施を通じて、このコミットメントを示しています

ナザレでは、児童虐待に対する寛容さはゼロであり、子供たちの最善の利益のために行動し、害から安全に保つことにコミットしています。 学校は、その児童保護の責任を最も重要



視し、関連するすべての児童保護法、規制の遵守を確保し、子どもの安全な文化を維持する ために必要なリソースを提供することにコミットしています。

すべての子供は、性別、人種、宗教的信念、年齢、障害、性的指向、家族または社会的背景 に関係なく、虐待から保護する平等な権利を有する。

#### このポリシーで使用される一般的な定義

子供: 学校に学生として入学した子供や若者。

#### 児童虐待 には以下が含まれます。

- (a) 子どもに対して行われた行為:
  - (i) 性犯罪:
  - (ii)犯罪法第 49B(2)1958 年(グルーミング)に基づく犯罪。
- (b) 子供に対する次の行為
  - (i) 身体的暴力;
  - (ii) 深刻な感情的または心理的危害.
- (c)子供の深刻な無視。閣僚令第 870 条(付録 2).

子どもの安全とは、すべての子どもを児童虐待から守り、児童虐待のリスクを管理し、児童虐待の危険にさらされている子どもを支援し、児童虐待の申し立てや事件への対応に関する事項を含む。閣僚令第 870( (付録 2)...

子供の無視: 子供の健康と身体的発達が著しく損なわれたり重大な危険にさらされている程度に栄養、医療、衣類、避難所または監督の適切な基準を子供に提供する失敗が含まれています。

**児童の身体的虐待:**一般に、子供に対する身体的暴力のいかなる偶発的な行為も、誰かによって..

**児童の性的虐待:**人が性行為に m を含めるために子供に対する権力または権威を使用するときです m。 それは性行為の広い範囲を含むことができるし、常に物理的接触または強制 c ヒルド保護を伴わない。

**感情的な児童虐待**: 子供が繰り返し拒絶されたり、孤立したり、脅迫によって恐れたり、家族の暴力を目撃したりすることによって起こります。



グルーミングは、後日性行為のために子供を準備するために捕食行為に従事するとき a です。 それはコミュニケーションを含むことができるし、/または仲良くしたり、関係を確立しようとした、子供またはその親/介護者との他の感情的な関係を含むことができます。

**児童保護**:重大な危害を受ける危険性のある子どもを保護するための法定サービス

報告義務:子どもを身体的および性的虐待に関する危害から守るための 2005 年児童・青少年・家族法(Vic,)に基づく法的要件。 学校の P リンシパル、教師、医療従事者、看護師、心理学者は、この A ct の下で記者を義務付けています Act。

**合理的な信念**: 職員が子供や若者の安全と幸福を心配する場合、その懸念を評価して、関係機関に報告すべきかどうかを判断する必要があります。 すべての関連情報と観察を考慮するこのプロセスは、「合理的な信念」を形成することとして知られています。 「合理的な信念」や「合理的な理由での信念」は、証拠を持つことと同じではなく、単なる噂や憶測以上のものです。 同じ立場の合理的な人物が同じ理由で信念を形成した場合、「合理的な信念」が形成されます (PROTECT- ビクトリア朝の学校におけるあらゆる形態の虐待の識別と対応 - 付録 3)。.

学校環境 とは、学校運営当局が学校の管理当局によって利用可能または認可された物理的または仮想的な場所を意味します。

- (a) 学校のキャンパス;
- (b) オンライン学校環境(電子メールおよびイントラネットシステムを含む)
- (c) 子供用の学校が提供するその他の場所(学校のキャンプ、スポーツイベント、小旅行、 競技会、その他のイベントに使用される場所を含む)

#### 学校職員とは、学校環境で働く個人を意味します。

- (a) 学校の統治機関に直接従事または雇用 されている。
- (b) ボランティアまたは契約サービス提供者(団体企業または他の人が仲介役 あるかどうか)
- (c) R エリギオンの M イニスター。(閣僚令第870)).

#### ポリシーコミットメント



ナザレに在籍するすべての学生は、安全で安全であると感じる権利があります。 私たちの 世話をする子供たちの幸福は常に私たちの最優先事項であり、私たちは, and will not 児童虐待を容認しません。 子どもの安全で子どもに優しい環境を作り、子どもたちの安全を気に せず、自由に生活を楽しめる環境を作り出すことを目指しています。 アボリジニやトレス 海峡諸島民の子供たち、文化的および/または言語的に多様な背景を持つ子供たち、障害を持つ子供たちを含む最も脆弱な子供たちに特に注意が払われています。 私たちは多様性、特に文化的多様性を大切にし、祝い、差別的な慣行を容認しません。

2006年のビクトリア朝人権責任憲章法(Vic)は、ナザレ大学職員に対し、意思決定を行う際に人権に適切な配慮を行い、人権と共に行動することを義務付けている。

児童虐待の疑いに対応する上で、当社の決定と行動は、憲章の権利に配慮しています。

- アボリジニとトレス海峡諸島民の学生とその家族の文化的安全、参加とエンパワーメントを知る。
- すべての子供が差別なく、自分の最善の利益のような保護を受ける権利を有し、子供であるという理由で彼または彼女によって必要とされること。
- 人は、憲章の下で、児童虐待の疑いに対応する上で、違法または恣意的に妨害されない 権利を有する。 子供のプライバシー権を適切に考慮することは重要ですが、これはナザ レカレッジが私たちの保護義務を放棄することを提示すべきではありません。
- 憲章は、拷問や残酷な、非人道的または品位を傷つける扱いからの保護を提供します。 そのような行為の禁止と同様に、憲章によって禁止されている拷問やその他の行為を意 図的に防止するための措置を講じる義務があるかもしれません。
- 文化的および/または言語的に多様な背景(CALD)とその家族からの文化的安全、参加、エンパワーメントを楽しめる。
- 障害を持つ学生の個人的な安全、参加、エンパワーメントを知り、彼らが歓迎され、学校生活の人権と責任憲章法の一部を感じさせる 2006 年。

#### 子どもの安全へのナザレ大学のコミットメント

ナザレ大学に入学するすべての学生は、安全で安全であると感じる権利を持っています。私たちの世話をする子供たちの幸福は常に私たちの最優先事項であり、私たちは児童虐待を容認しませんし、容認しません。 子どもの安全で子どもに優しい環境を作り、子どもたちの安全を気にせず自由に生活を楽しめる環境づくりを目指しています。 アボリジニやトレス



海峡諸島民の子供たち、文化的および/または言語的に多様な背景を持つ子供たち、障害を持つ子供たちを含む最も脆弱な子供たちに特に注意が払われています。

#### 学生へのコミットメント

- 私たちは、私たちの学校に在籍するすべての子供と若者の安全と幸福にコミットします
- 私たちは、子供や若者に前向きで育てる経験を提供することを約束します。
- 私たちは、子どもや若者の意見を真剣に受け止め、彼らが私たちと一緒に提起する懸念 に対処することによって、彼らに力を与えることにコミットします。
- 私たちは、子どもや若者が虐待や危害から保護されるように行動を起こすことにコミットします。
- 私たちは、子供や若者に、自分の安全と幸福を理解し維持するために必要なスキルと知識を教えることにコミットしています。
- 安全な学校環境の構築に関する学生からの意見やフィードバックを求めることにコミットします。

#### 私たちの両親と介護者へのコミットメント

- 私たちは、子供たちの幸福と安全について親や介護者と正直かつ率直にコミュニケーションを取ることを約束します。
- 私たちは、私たちの子供の安全慣行、ポリシー、手順について親や介護者の見解に従事 し、耳を傾けることを約束します。
- 私たちは、子どもや若者の安全を損なわない親や介護者との意思決定の透明性にコミットします。
- 私たちは、学生や家族の文化的多様性を認め、これが学生の安全問題にどのような影響を与えるかについて敏感であることにコミットします。
- 私たちは、子どもたちを虐待から守るために、システムを継続的に見直し、改善することにコミットしています。

#### 私たちの学校スタッフへのコミットメント

#### (学校職員、ボランティア、請負業者、聖職者)

- 私たちは、すべてのナザレ大学のスタッフに、彼らが彼らの役割を果たすために必要なサポートを提供することを約束します。これには、定期的かつ適切な学習機会が含まれます。
- 私たちは、子どもの安全と若者の保護と幸福に関連して、政策と手続きを明確にし、確認する機会を定期的に提供することにコミットします。 これには、児童安全方針および児童安全行動規範の原則と意図に関する年次研修と、懸念事項を報告するスタッフの責任が含まれます。
- 私たちは、ナザレ大学のスタッフ、聖職者、ボランティア、請負業者が、子供や若者を 危害から守ることについて声を上げているすべての懸念に耳を傾けることにコミットし ます。



• 私たちは、ナザレ大学の学校職員、ボランティア、請負業者、聖職者が、子供や若者の 虐待事件に起因する正式な報告とカウンセリングを受ける機会を提供することにコミットしています。

ナザレカレッジは、私たちのケアのすべての子供や若者のための安全で育成環境を提供することに全力を尽くしています。 私たちのコミットメントは、ビクトリアのカトリック教育委員会(CECV)の子供の安全へのコミットメントと一致しています(付録 1)。

#### 責任と組織的取り決め

ナザレ大学で雇用またはボランティア活動を行うすべての人は、すべての学生の幸福と安全が彼らが行うすべての最前線にあり、彼らが行うすべての決定の最前線にあることを確実にするために、彼/彼女が個別かつ集団的に果たす重要かつ特定の役割を理解する責任があります。子どもの保護は、すべての人の責任です。

学校は、次のように、子どもの安全のための正式な役割と責任を割り当てております。

- カノニカル Administrators, ボードと大学のリーダーシップ チームは、閣僚令第 870 の全側面の全体的なコンプライアンスを担当します。
- ハウスの長、of ウェルビグと牧歌的な教師の '若者の安全と幸福をサポートする責任があります wellbeing of young people。 Directors'
- カレッジ管理チームは、すべての子どもの安全/リスク評価/ロジスティックオルガニの取り付けプロトコルが効果的に実施されるようにする責任があります。
- ラーニングリーダーは、すべてのカリキュラム領域が、子どもの安全に関する知識と介護の若者のためのスキル開発に関して、適切なコンテンツを持つことを保証する責任 in があります。
- すべての職員は、ナザレ大学児童安全方針の遵守と実施に対して個人の責任を負います。
- 児童安全担当者は、子どもの安全に関する追加の訓練を受けており、子どもの安全に関連するすべての問題の最初のポイントです。

#### 学校のリーダーシップの責任

ナザレの校長、 カレッジボード、学校指導者は、子どもの安全に対する開放性、意識、責任の共有文化を促進する予防的かつ積極的な戦略の開発を確実にする上で、彼らの特定の責任を認識しています。

責任は次のとおりです。

- 子どもや若者が安心して安心できる環境を作る。
- すべてのスタッフ、聖職者、ボランティア、および請負業者のための高い原則と基準を 支持する。
- 相互尊重と配慮に基づき、大人と子供と若者の行動モデルを推進する。
- スタッフの採用、審査、継続的な専門的学習に徹底的かつ厳格な慣行が適用されること を保証 する。
- 学校の職員が児童の安全問題に関する知識、開放性、および能力を養うために、定期的かつ適切な学習を行うことを保証する。
- 子どもや若者の保護と幸福に関連して、立法上の義務、政策、手続きを明確にし、確認 する機会を定期的に提供する。
- 学校が閣僚命令第 870 番に定められた V ictorian の子供の安全基準の特定の要件 V を満たしていることを保証する。
- En保証学校は、犯罪法 1958(vic.)に沿って導入された 3 つの新しい刑事犯罪に沿って子供たちを虐待から保護するために特定の行動を取ります保護 and in line with the Protect:ビクトリア朝の学校におけるあらゆる形態の虐待を特定し、対応する(Appendix 3)。.

#### 学校職員の責任

学校職員(学校職員、ボランティア、請負業者、聖職者)の責任は次のとおりです。

- 子供や若者を尊厳と敬意をもって扱い、礼儀を持って行動する。
- ケアの義務を提供し、彼らの世話で子供や若者を保護する。
- 彼らは子供や若者が虐待または無視されている合理的な信念を形成する場合、彼らの仕事の過程で立法および内部学校のプロセスに従ってください;
- の幸福が存在する物理的・心理的に安全な環境を提供する c ヒルドレンと若者は育まれ;
- 子どもの安全と子どもや若者の幸福に関して、個々の責任を理解するために定期的な訓練と教育を行う。
- すべての人々の権利が安全で虐待から解放されることを認識する、積極的で責任ある思いやりのある態度と行動を開発するために、子供や若者を支援する。
- 学校の子供の安全CオデCに続いてCオンダクト。

#### 組織的な取り決め

ナザレ大学のカトリック精神は、学習と信仰コミュニティの発展を促進する信仰、知恵と 知識の価値に基づいて安全で安全な環境で表現されています。 ナザレ大学の気候は、私



たちが維持する価値観や倫理について、私たちの態度や行動によって私たちが与えるものです - それは私たちの懸念とお互い、特に私たちの C の免除に委ねられた若者によって示された信仰の目に見える表現 C です。

このポリシーの実施を監督することは、大学の正規 A の dministrators を代表して行動する校長になります。子どもたちを安全に保つという倫理的な命令が、学校内のすべての職員、ボランティア、および C 免除メンバーによって認識され、理解され、評価され、支持されることを保証することは、校長の役割です members, volunteers, and C。 子どもの安全問題の実施、監視、レビューを支援するため、正規管理者とプリンシパルは、すべてのスタッフメンバーと緊密に協力 all staff します。

また、すべてのスタッフが必須レポートに関する要件を理解し、すべての問題を敏感かつ迅速に処理する必要があることを認識していることも、プリンシパルの特定の役割です。 スタッフの M イーティングスは、月曜日と水曜日の M オニング B リーフィングと一緒に、子供の安全の問題を含む情報のコミュニケーションと普及を支援する道です。

校長はまた、ナザレの子供の安全な戦略を管理し、改訂する際の大学の有効性を測定し、ポリシーがカレッジ C の免除のすべてのメンバーに配布され、私たちの大学のウェブサイト上のより広いコミュニオン y に表示されることを保証するために、学校の手続きの見直しを担当します。

校長補佐の信仰とウェルビーブは、通常、保健福祉省(DHHS)、チャイルドファースト、警察、裁判所システム、学校などの政府機関間の導管になります。

ナザレカレッジでは、カレッジボードのすべてのメンバーは staff members、, 直接および間接的なボランティアと共に、子どもたちの安全と保護に貢献する責任を共有しています。 具体的な責任は次のとおりです。

#### カレッジボード(ナザレ諮問委員会)

大学理事会の各メンバーは、学校の児童保護と安全方針が学校内で効果的に実施されるよう に適切なリソースが利用可能であることを保証し、効果的な実施に責任を持つ校長と大学リ ーダーシップチームを保持する責任を負う必要があります。

#### プリンシパル

校長は責任を負い、この児童保護安全方針が効果的に実施され、学校内で強固で持続可能な 児童保護文化が維持されるように、あらゆる実践的な措置を講じる責任を負う。



#### チャイルド S アフェティオフィサー

アシスタントプリンシパル信仰とウェルビグ、ウェルコーのディレクター'と School Cウンセロールは、学校の児童安全責任者としてノミネートされています s. 私たちの児童安全担当者は、ve 児童保護の問題に関して追加の訓練を受けました。彼らは学校内の児童保護の懸念を提起するための最初の窓口です。 彼らはまた、学校内の児童保護を支持し、児童保護事件への対応を調整する責任があります。電子メール via email

childsafety@nazareth.vic.gov.auで連絡することができます

#### スタッフ

すべての職員は、児童虐待の報告に関する当社の児童保護および安全方針の内容と法的義務 に精通している必要があります。 児童虐待の主要なリスク指標を認識し、遵守し、学校の 児童安全責任者と児童虐待に関する懸念を提起することは、各個人の責任です。

#### 直接連絡ボランティア

すべての直接連絡ボランティアは、児童保護および安全方針(児童安全行動規範を含む)の内容と、児童虐待の報告に関する法的義務について理解する必要があります。 児童虐待の主要なリスク指標を認識し、遵守し、学校のチャイルド S の職員の 1 人と児童虐待に関する懸念を提起することは、各個人の責任 Safety です。

#### 間接連絡ボランティア

間接連絡ボランティアとは、特定のグループの学生を直接支援する一方で、サポートやサービスの提供に携わるボランティアです。間接連絡ボランティアは、unsupervised ボランティアサービスを提供する通常のコース中に、教師なしの学生との接触を持たなかったでしょう。

すべての間接ボランティアは s、chool 環境における子どもの安全と保護に貢献する責任があります。すべての間接的なボランティアは、s 私たちの児童保護と安全ポリシーに精通するために、s chool によって必要とされます。間接接触ボランティア活動の例としては s、Chool 機能、チュール s 食堂、募金活動のバーベキューなどの支援が挙げられます。

#### 第三者の請負業者

s chool が従事するすべての t hird-party 請負業者(サービスプロバイダー)は st、chool 環境に おける子供の安全と保護に貢献する責任があります s。 s chool が従事するすべてのサービス



プロバイダーs は、当社の s 児童保護安全方針に精通するために、s chool によって要求されます。s chool は、当社の児童保護安全方針および児童安全行動規範の提供を含む広範なデューデリジェンスプロセスを経た第三者の請負業者のみを使用しています。

#### 外部教育プロバイダ

外部教育プロバイダーは、カリキュラムの一部である特定の学習コースを、s chool に在籍する学生または学生に提供するために Chool が手配 s した組織です。このようなコースの配信は s、chool の敷地内または他の場所で行われる場合があります.s chool が関与するすべての外部教育プロバイダーs は、s chool 環境で子供の安全と保護に貢献する責任 s があります。.s chool が関与するすべての外部教育プロバイダーs は、当社の児童保護と安全方針に精通するために、s chool によって必要とされます。ナザレは、この要件を、外部の教育提供者との間の書面による合意に含めることができます。

#### ハウスシステム

組織構造は、その目的として学校 C の免疫内の関係の総気候を持っています。それは個人をその焦点とし、福音に基づくコミュニティの精神で示され、経験した支援、励まし、愛情のあるケアを反映しています。生命を与えることに焦点を当てて、すべての人が成長し、人としての尊厳と価値を肯定し、自分自身を高く評価し、個人の安全と幸福を理解し維持し、wellbeing 対人関係スキルを開発するためのスキルと知識を開発することを可能にする必要があります。

College は垂直のホームルームを持ち、家の構造を運営しています:

- 彼らがさらされている社会的な行為の範囲を否定するブローによって学生の社会的 レパートリーを増やす;
- 学校全体の C 免疫 ommunity への接続を促進します。
- メンタルヘルス、レジリエンス、安全性、福祉を向上させるための積極的な対策を 提供する。
- 学校 C の免疫で他の人に対する責任感を高めます。

複数の年齢のホームルームは、代替ピアグループを提供し、次の機能を実現します。

- 他の知的、物理的、社会的、感情的なレベルを混ぜて、さらされる機会:
- s 学生が発達的に自尊心、反社会的、リスクの高い行動に関して問題を抱えている可能性が高い青年期の影響を最小限に抑えるのに役立ちます。
- 追加のサポートと接続性を提供します。
- 同様の否定的な問題を共有する可能性のある一部の同僚と集まる通常の傾向ではなく、 思いやりと肯定的な関係に学生を公開します。



住宅は、以下を含むカレッジ内の他のチームによってサポートされています。

- 学生支援チーム:
- スクールカウンセラー
- キャリアカウンセラー;
- 学習 ダイバーシティ チーム;
- 学生サービス:
- 外部パートナーシップと紹介:

ハウスオペレーションは、ハウスの頭、Pアストラル T 各人と Subject T 各人の責任です。このPアストラル Team は、ウェルビービーの取締役によって招集され、促進されます.C ハウスチーム、科目部門、牧歌的/学習リーダーシップチームの仕事を含むすべてのレベルの C ollege 操作は、C ollege のコアビジネスに収束 C します - 若者の幸福と安全によって常に支えられている教育と学習において若者と働いています。これら 2 つの領域は密接にリンクされています。

#### 懸念事項の報告

当社の児童保護と児童安全方針(セクション 2)は、ナザレ諮問委員会のメンバー、スタッフ、直接連絡ボランティアのメンバーに対して、児童虐待の主要なリスク指標を特定する方法と、学校の指名された児童安全責任者の1人に児童虐待の懸念を報告する方法について詳細なガイダンスを提供します。また、関連当局への児童虐待事件の報告に関する詳細な手順も含まれています。

第三者の請負業者、外部教育提供者、間接連絡ボランティア、学生、保護者、または C 虐待を受ける可能性があるという懸念を持つ C の免責メンバーは、学校の児童安全責任者に連絡するよう求められます。

私たちの子供の安全担当者は、97958100 の学校レセプションまたは電子メール childsafety@nazareth.vic.edu.au を介して連絡することができます.

通信は「知る必要がある」という秘密に基づいて秘密裏に扱われ、すべての personal information はナザレ大学プライバシーポリシーに従って処理されます。

子供が直ちに危険にさらされているという懸念があるときはいつでも、警察は **000** に呼ばれるべきです.

#### 学校職員の期待 - 児童安全行動規範

ナザレ大学では、学校の従業員、ボランティア、請負業者、聖職者が、常に学生の安全を積極的に確保し、学校の子供の安全に関する懸念がある場合は適切な行動を取ることを期待しています。すべての学校職員は、関連する法律、C オンダクトの C オード、および児童保



護に関する方針と手続きに精通し、すべての要件を遵守する必要があります。私たちは、学校職員が私たちのケアで学生を保護する上で果たす重要な役割を認識し、虐待や無視からそれらを保護するために、子供たちとの適切な行動のための学校職員、ボランティア、請負業者や聖職者の明確な期待を確立する児童安全行動規範を開発しました。私たちのコードはまた、受け入れ可能で容認できない行動の明確化を通じて学校職員を保護します。

#### 学生の安全と参加

ナザレ大学の主催者には、学生が放課中と放課後の両方でサポートを求める情報が含まれています。すべての教師のための指導原則は、肯定的な、安全な、支持的な学習文化を開発するために学校のコミュニティを結集するフレームワークである学校 Wide ポジティブ行動サポートスクールです。 スタッフと学生は、すべての貧しい選択が成長と学習の機会であることを理解しており、私たちは皆、個人的および共同的な権利と責任を持っています。これは、すべての相互作用の基礎です。ナザレはまた、大学、家、年レベル as を通じてチャイルドセーフのチョール環境をセムとして推進しています。C ウルリクルムプログラムはまた、子どもの安全要件のすべての側面がすべての年レベルで対処されていることを確認するために定期的に見直されます。

ナザレ大学では、すべての学生に自分の意見を公然と表現するよう積極的に奨励しています。私たちは、特に彼らに直接影響を与える事項について、彼らの提案に耳を傾けます。私たちは、すべての学生が自分の意見を表明し、自分にとって重要なものに声を与えることに安心することを積極的に奨励します。私たちは、安全でないと感じた場合に何ができるかを学生に教え、子供の安全を理解し、特定し、議論し、報告できるようにします。私たちは、、学生、または両親/保護者が私たちと一緒に提起するあらゆる懸念に耳を傾け、行動します。

学生が自分の安全の世話をする権限を学生に与えるために、ハウスの長、ウェルビンスのディレクター 、スクール C ウンセラーなどの機関は、ナザレをより安全な学習環境にすることができる懸念や前進の提案を表明するために、アシスタントプリンシパルフェイスとウェルビンスと定期的に会います。また、校長、副校長、校長補佐、家長、牧歌的教師、S Subject Teachers、応急処置官またはスクールカウンセルに直接近づくか、アドバイスを求めたり、援助を受けたりすることもできます。

#### レポートと応答



ナザレカレッジは、児童安全行動規範の児童安全上の苦情、開示または違反を記録し、セキュリティおよびプライバシー要件に従って記録を保存します。当校は、2005 年児童青少年・家族法(Vic.)、犯罪法 1958(Vic.)、信託裏切り報告書の勧告に基づく児童虐待のリスク管理に関する法的義務を遵守しています。

児童保護報告義務は、報告要件が異なる別々の法律に該当します。ナザレ C オレゲは、 CEM ポリシー2.19 児童保護 - 報告義務を採用しています (付録 7.. このポリシーは、私たちの学校の子供が保護を必要としているか、刑事犯罪が行われているという合理的な信念がある場合に関連する法律の下で必要な行動を定め、報告方法に関するガイダンスと手順を提供します。

このポリシーは、スタッフ、ボランティア、家族が以下を支援します。

- 保護を必要としている可能性のある子供または若者の指標を特定する。
- 「合理的な信念」がどのように形成されているかを理解する。
- 保護を必要としている可能性のある子供や若者の報告をする。
- 児童保護法に基づく報告義務、および刑法に基づく犯罪的な児童虐待および身だしなみ に関する法的義務を遵守する。

ナザレカレッジはまた、学生の幸福および/または安全に関する懸念に対応するために適切な行動が取られることを確実にするために内部プロセスを確立しました。N アザレスカレッジはまた、ナザレ大学苦情ポリソ y で概説され、詳細化されている苦情や開示プロセスのための正式な道を持っています

関連する法律に従って、学生が虐待されたという証拠を持っているナザレ大学に雇われた、または提携している学校職員、ボランティア、請負業者、または宗教聖職者は MUST、関係当局または当局に直ちにこの問題を報告しなければなりません Safety O。

当校の**児童保護と児童安全方針- 第 2 項** sets は、当校の児童が保護または刑事犯罪を必要としているという合理的な信念がある場合に関連する法律の下で必要とされる行動を定め、報告方法に関するガイダンスと手順を提供します。

当社の方針は、スタッフが以下を支援します。

- 保護を必要としている可能性のある子供または若者の指標を特定する。
- 「合理的な信念」がどのように形成されているかを理解する。



- 保護を必要としている可能性のある子供や若者の報告をする。
- 児童保護法に基づく報告義務、および刑法に基づく犯罪的な児童虐待および身だしなみ に関する法的義務を遵守する。

また、私たちの学校は、学生の幸福や安全に関する懸念に対応するために適切な行動を取ることを確実にするために、内部プロセスを確立しています。ナザレ・カレッジは、家族と協力して、子供や若者が意思決定プロセス、特に安全に影響を与える意思決定プロセスに従事し、積極的に参加していることを保証します。これは、スタッフ、子供、若者、家族の見解が真剣に受け止められており、彼らの懸念は正当かつタイムリーに対処されることを意味します。子供や若者は、自分の安全と幸福を理解し維持するために必要なスキルと知識も提供されています。

正規管理者の指示に従って、カレッジリーダーシップチームが子供に対するすべての懸念、疑惑、および危害の申し立てを確実にするために、次のことを行います。

- 4人の指定された児童安全責任者を持ち、その役割は、スタッフ、ボランティア、親または子供によるすべての苦情を受け取ることである(アシスタントプリンシパル、ウェルビープのディレクター;、School Counsellor)。
- 既存の大学の方針に沿って苦情を処理する。

第三者の請負業者、外部教育提供者、間接連絡ボランティア、学生、保護者、またはC虐待を受ける可能性があるという懸念を持つ他のC免除メンバーは、学校の児童安全責任者に連絡するように求められます Safety 。 私たちの子供の安全担当者は、9795 8100 に電話するか、childsafety@nazareth.vic.edu.au 電子メールで連絡することができます.通信は「知る必要がある」上で機密扱いを受け、すべての personal information は学校のプライバシーポリシーに従って処理されます。

子供が直ちに危険にさらされているという懸念があるときはいつでも、警察は 000 に連絡する必要があります。

#### 学校職員の審査・募集

ナザレは、 and our スタッフのスクリーニングと採用方針(Appendix 8)と誘導方針 (AAppendix 9)に概説されているように、子どものコネクテッドワークに関わる従業員とボランティアの採用に最も徹底的かつ厳格な審査プロセスを適用します。 私たちは、すべて



のスタッフとボランティアにインタビューし、審判チェックを行い、すべてのスタッフとボランティアのための警察のチェック、、VITと子どもと一緒に働く(WWCC)を必要とします。私たちの子どもの安全へのコミットメントと審査要件は、すべての広告に含まれており、すべての応募者は学校の児童安全行動規範と児童保護および児童安全方針のコピーを提供しています。

#### 募集

子どものつながり作業に携わる従業員、請負業者、ボランティアを募集・選ぶ際には、以下 の努力を行います。

- 申請者の子どもとの作業チェックと国家警察チェックのステータスおよび/または専門家の登録(関連する場合)を確認してください。
- 個人の身元や専門家またはその他の資格の証明を取得する。
- 子供を含む仕事の申請者の歴史を確認する:
- 申請者の仕事への適合性と子供との作業に関する参考文献を入手します。

私たちは、子供のチェックで働くステータスの定期的なレビューやビクトリア朝教育研究所 (VIT)登録などのスタッフの専門的な登録要件を含む、子供たちと一緒に働くために学校の スタッフの継続的な適合性を監視し、評価するためのプロセスを持っています。

#### 児童保護- Cヒルドレンとの連携

#### 定義

2005年児童労働法の目的:

子供は18歳未満の子供です

子ども関連の仕事は、法律に記載されている職業分野の1つに関わる仕事であり、通常は子供 usually'との直接接触を伴い、その接触は他の人によって直接監督されていません 注意: '仕事は、仕事に付随する子との直接接触を理由に、子に関連する作業ではありません。'

直接連絡とは、次の操作を行う個人と子供との間の任意の連絡先です。

- 物理的接触:
- 口頭コミュニケーションに対して対面する。



直接監督とは、一般に、仕事ではなく、子どもとの接触,を,監督する事である。他人と子供 との接触を監督することは、個人的かつ即時である必要がありますが、別の部屋で電話を取 るなどの短い欠席を含めることができます。

この方針は、C すべての子供と若者のための安全な環境を支援する学校全体の C 免除に適用されます。ナザレ大学の校長は、すべての関係者が WWC CC 評価に応募したことを保証します。すべての関連スタッフ(ing すべての非教職員、請負業者、自営業者、ボランティア、諮問委員会のメンバーCommittee を含む)は、独自のチェックを受ける責任がありますが、Nazareth はスタッフ全員が有効なチェックを行うことを保証します。

この方針は、すべての子供と若者のための安全な環境を支援する学校全体の C 免除に適用されます。これは、子どもと一緒に働く人々がスクリーニングプロセスの対象となることを保証することによって、性的または身体的危害から子供を保護するために制定されたビクトリア朝の 子どもと働く法律 2005 の規定を遵守する学校の責任に関するものです。子どもとの協力法 2005. s.1(1).

- 子どもとの作業チェック(WWCC)は、有給労働者またはボランティアとして子ども関連 の仕事の 20 の職業分野に関与するほとんどの人に必要です - その仕事は適切なチェックを持つ誰かによって直接監督されていません。
- ビクトリア朝教育研究所の現在のメンバーは、VIT の一部として同様の定期的なチェックを既に受けているため、WWCC を要求することは免除されています。
- 聖職者と宗教的職業の義務を果たす人々は、特にチェックが必要であると特定されます。学校は、正規管理者を含め、これらの人々のための WWCC を見る必要があります。
- スポーツクラブもこれらの20の職業分野に含まれます。学校は、関連するスポーツクラブが責任を管理する方法を考慮する必要があります。
- 従業員、ボランティア、自営業者、団体企業の役員、経営委員会のメンバー、学生教員など、学校で働く人にチェックが必要です。この要件には例外があり、ナザレは understands、これらの要件を手順と実践に組み込んでいます。
- スタッフは自分の小切手を取得する責任がありますが、Nazareths はチェックが 1 つを 必要とするすべての人によって保持されていることを確認し、この継続的な記録を保持 します。ナザレはまた、すべての教員がビクトリア朝教育研究所への登録を維持し、 定期的にこれらの記録をチェックすることを保証します。



注:児童チェックは、学校の注意義務の最低限の要件です - それは人が性的虐待の有罪判決を受けていないという証拠を提供します。それは子供と一緒に働くのに適していると任意の人を支持しません。 また、are also 学生に危害を加えるリスクを可能な限り減らすために、体系的かつ厳格なスクリーニングプロセスも行われています。

以下のプロセスが実施されており、WWCCチェックのコンプライアンスおよび最新レコードが維持されます。

- 非t各スタッフ WWCC 評価のコピーは、彼らの personal file に配置されます。
- C assessment 校長補佐 the (または代理人)は、すべての関連スタッフ(有給の非教員、請 負業者、自営業者、ボランティア、諮問委員会のメンバーを含む)の正確かつ最新の 記録を保持します。 (
- WWCCレコードは、四半期ごとに確認された安全なファイルに保存されます。WWCC から免除される者は、適切な表記で本登録簿に含まれます。
- すべての教師は、作業を終了する前に、現在の VIT 登録カードのコピーを提供する必要があります。
- person WWCC または現在の VIT 登録を持たない人は、子供たちと教師なしで働くことができます。t 現在の登録がない各人は、学校に入る前に WWCC を直ちに申請する必要があり、登録が更新されるまで教師として働くことはできません。
- 教師、他のスタッフ、請負業者、およびボランティアのための最新の VIT レジスタは 安全なファイルに保管され、校長補佐(または代理人)によって維持されます。
- スタッフとボランティアの選考および任命プロセスは、契約前に VIT 登録または WWCC の証拠と積極的な保証の提出を必要とします。
- VIT および司法省のウェブサイトは、すべての登録と WWCC が現在のままであること を確認するために、各用語をチェックされます。
- すべてのスタッフは、毎年(誘導時を ing 含む)、リーダーシップ Team による事前承認の必要性を含むボランティアや他の人に関する学校の手続きを理解し、ing 実施することを認識しています。

#### 子どもの安全 -学校職員のための教育と訓練

ナザレは、従業員、ボランティア、聖職者に、児童の安全問題に関する知識、開放性、および取り組む能力を開発する定期的かつ適切な機会を提供します。これには、誰もが自分の専



門的および法的義務と責任を理解し、児童虐待や怠慢の疑いを報告するための手順を確実に 理解するための誘導、継続的なトレーニングと専門的な学習が含まれます。

ナザレ・カレッジ・リーダーシップ・チーム the は、毎年、雇用時に、子どもの安全方針、 児童安全報告、児童安全行動規範の概要を説明しています。 セッションスタッフは、この トレーニングを受けるために特定の会議に出席するように求められます。スタッフは、毎年 で tr を受け取った児童安全行動規範文書 aining in, に署名します。 諮問委員会のメンバーは 、新しい委員会メンバーが任期を開始するにつれて誘導される法律のスペシフィックトレ ーニングを受けました。ナザレ諮問委員会のメンバーはまた、毎年児童安全行動規範に署 名する必要があります。

#### リスク管理

Nazarethでは、学校環境全体にわたる学生の安全に対するリスクを積極的かつ体系的に特定し、評価し、可能な限りすべての潜在的な危害源を削減または排除することに取り組んでいます。子どもの安全に関するリスク管理戦略を文書化、実施、監視、定期的に見直し、必要に応じて、新たなリスクが生じるにつれて戦略が変化することを確認します。 The リーダーシップ・テムは、コンプライアンスと実装全体を監視します。

子供の安全は、学校 C の免疫のすべてのメンバーに関係しています。 そのため、以下の小委員会は、リスクを適切に特定し、管理する責任があります。これらのグループは次のとおりです。

- OHS 委員会:
- 牧歌的なチーム:
- 管理チーム;
- リーダーシップチーム:
- ビジネスマネージャ:
- 施設とメンテナンスチーム.

#### 関連するレジスレーション

- 1. 子供・青少年・家族法 2005 年(Vic.);
- 2. 子どもと協力する法律 2005 (Vic.);
- 3. 教育訓練改革法 2006 (Vic.):
- 4. 機会均等法 2010(Vic.);



- 5. プライバシー法 1988 (Cth):
- 6. 犯罪法 1958 (Vic.) (3 つの新しい刑事犯罪は、この A ct の下で導入されました A).
- 1) <u>犯罪の開示の失敗</u>: 16 歳未満の子供に対して成人が性犯罪を行っているという合理的な信念を持つ成人は、その情報を警察に通報する義務があります。警察に情報を開示しないのは刑事犯罪です(信頼の裏切り: ファクトシート '開示の失敗 付録 5).
- 2) <u>攻撃を保護しない</u>: 関連組織の管理、監督または権限の下で 16 歳未満の子供がその組織に関連する大人によって犯された性犯罪の被害者となるという重大なリスクがある場合、犯罪は適用されます。組織の権威ある立場にある人は、虐待のリスクを知っていて、リスクを軽減または削除する権限または責任を持っているが、怠慢に失敗した場合に犯罪を犯 (see す(信頼の裏切りを守る失敗:ファクトシート 付録 6)。
  - 3) グルーミング犯罪: この犯罪は、子供との後の性行為を容易にするために設計された 捕食行為を対象とします。グルーミングは、ソーシャルメディア、ウェブフォーラム、電子メールを介したインタラクションを介して、人やオンラインで行うことが できます (信頼の裏切り:ファクトシート 'グルーミング' – 付録 7)

#### 関連ポリシー

#### カトリック教育メルボルン政策

- 1. ポリシー 2.19: 児童保護 報告義務:
- 2. ポリシー 2.19a: 学校のガイドライン 警察と DHHS のインタビュープロトコル:
- 3. ポリシー 2.20: 苦情ポリシー:
- 4. 方針 2.26: カトリック学校における生徒の牧歌的ケア;
- 5. 行動支援のための CEM ガイドライン
- 6. CECV 全学校はポジティブな行動をサポートするためのアプローチ.

#### 学校の方針

安全で育成的な文化を創造し維持するために、ナザレは、新たな思考と証拠によって知らされたすべての政策、プロセス、慣行を積極的かつ継続的に開発し、見直します。この p オリシーは、スタンドアロン ポリシーとは見なされません。を使用して実装する必要があります。

1. 児童安全行動規範



- 2. 牧歌的ケアポリシー:
- 3. いじめ防止政策
- 4. 大学の OH&S 手続き:
- 5. 苦情ポリシー;
- 6. ケアポリシーの義務;
- 7. スタッフの審査と募集
- 8. スタッフの誘導.

このポリシーは、ラーニング E ニャンセメント Team、スクールカウンセラー 、First Aid Officer からの学生支援のための現在の参照手順と組み合わせて動作します。

#### ポリシー違反

従業員がこの p オリシー内の義務、義務または責任に違反していると疑われる場合、Nazareth は雇用上の懸念を管理するためのビクトリア朝カトリック教育マルチエンタープライズ契約 2018(VCEMEA)の第 13 条に基づくプロセスを開始することができます。これは懲戒処分につながる可能性があります。本ポリシーの義務、義務または責任に違反した疑いがある場合、関係当事者は、正規管理者または雇用者に連絡することをお勧めします。関連する通知は、カトリック教育メルボルン(職業行動、倫理および調査のオフィス)にも行われるべきです。

学校 C **の免責の他のメンバー**がこのポリシー内の義務、義務または責任に違反していると 疑われる場合、学校は児童保護報告義務ポリシーおよび/または連絡に従って適切な措置を 講ずるものとします。

上級役員, 職業行動, 倫理& 調査, カトリック教育メルボルン Ph: 9267 0221 または電子メール: opcei@cem.edu.a..

#### この子どもの安全方針の見直し

ナザレ大学では、私たちは子供の安全システムと実践の継続的な改善に取り組んでいます。 このポリシーは、法律や状況の変化に対応するために、実際に機能し、更新されていること を確認するために定期的に見直される動的な文書であることを意図しています。当社は、ポ リシーの更新履歴を保持します。

#### ポリシーの更新履歴

2017年、2018年、2019年 マイナー - CEM が提供する更新プログラム



#### 参照

ビクトリア株式会社のカトリック教育委員会(CECV)2018、ビクトリア朝カトリック教育 <u>マ</u>ルチエンタープライズ契約 2018、CECV。

カトリック教育のための会衆 1997、第三千年紀のしきい値にカトリック学校、バチカン、

教育省、2016、PROTECT:ビクトリア朝の学校におけるあらゆる形態の虐待を特定し、対応 する

ビクトリア州 2016, 児童安全基準 – 学校における児童虐待のリスクの管理: 閣僚令第 870、 教育訓練改革法 2006, ビクトリア州政府官報 No.S2.ビクトリア州議会、家族とコミュニティ 開発委員会、2013 年、信頼の裏切り

児童保護・安全ポリシー

P4.8

## セクション 2

## 児童保護報告義務

#### 紹介

子供と若者の保護は、一人一人が神のイメージと類似性で作られ、すべての人の固有の尊厳 が認識され、育成されるべきであるという信念に基づいています。



カトリック学校は、子供の主要な教育者である親、保護者、介護者と提携して、子供の全体的な教育を委託されています。したがって、カトリックの学校の職員は、合理的に予見できる行為や不作為を避けるために合理的な注意を払うことによって、学生に注意を払う義務があり、学生に危害や怪我をさせる可能性があり、子供の肯定的な幸福のために働く可能性があります

オーストラリアの子ども 2009-2020 を保護するための国家枠組みの下で、子どもたちを保護することはすべての人の責任であり、親、地域社会、政府、ビジネスはすべて果たすべき役割を持っています。 ビクトリア州では、保健福祉省(DHHS)児童保護省、教育訓練省(DET)、ビクトリアカトリック教育委員会(CECV)、認可児童サービスを含む子供と若者の安全と幸福を取 (CECV)り上げる共同議定書が、子供と若者の安全と幸福を保護するために存在します。DET はまた、学校のための 4 つの重要な行動を生み出しました:事件への対応、児童虐待の開示と疑い、児童虐待の疑いに対応する:すべてのビクトリア朝の学校のためのテンプレート、両方が共同プロトコルで参照されています(付録 1)。.

すべての教師、スタッフ、教区司祭、ビクトリア内のカトリック学校の正規と宗教的秩序の 管理者は、児童保護と児童安全方針、プロトコル、慣行を実施する専門的、道徳的、法的義 務を理解し、遵守しなければなりません。

#### このポリシーの目的

学校は、2005 年児童青少年・家族法(Vic.)、犯罪法 1958(Vic.)、および信託裏切り報告書の 勧告に基づく児童虐待のリスク管理に関連する法的義務を遵守する必要があります。

2005 年児童幸福安全法(Vic.)は、虐待から子供を守ることは日常的な思考と実践の一部である文化を作ることを目的とした 7 つのビクトリア朝の子供の安全基準を導入しました。子どもの安全基準は、信頼の裏切り報告書の勧告に応じて導入されました。閣僚令第 870 条 - 学校における児童虐待のリスクの管理は、教育訓練改革法 2006(Vic.)に基づいて行われ、すべてのビクトリア朝の学校が子供の安全基準の要件を満たすために取らなければならない具体的な行動 t を定めた。

このポリシーは、スタッフ(ボランティア、請負業者、聖職者を含む他のサービスプロバイダー、宗教指導者を含む)が次の目的で支援することを目的としています。

● 保護を必要としている可能性のある子供または若者の指標を特定する。



- 「合理的な信念」がどのように形成されているかを理解する。
- 保護を必要としている可能性のある子供や若者の報告をする。
- 児童保護法に基づく報告義務、および刑法に基づく犯罪的な児童虐待および身だしなみ に関する法的義務を遵守する。

児童保護報告義務は、報告要件が異なる別々の法律に該当します。このポリシーは、子どもが保護を必要としているか、刑事犯罪が行われているという合理的な信念がある場合に、関連する法律の下で必要な行動を定め、報告方法に関するガイダンスと手順を提供します。 児童保護が該当する法律は次のとおりです。

- 1. 子供・青少年・家族法 2005 年(Vic.);
- 2. 教育訓練改革法 2006 (Vic):
- 3. 犯罪法 1958 (ヴィック).

これらの法的義務は、学校 C の免除メンバーが彼らの世話と監督の下で任意の子供を保護することを rom 要求するケア義務の道徳的義務に加えて存在します。

このポリシーは、子どもが保護を必要とするか、刑事犯罪が行われたという合理的な信念がある場合に、関連する法律および規制ガイダンスの下で必要な行動を定めています。また、レポートの作成方法に関するガイダンスと手順も提供します。

児童虐待事件の報告と対応に関するすべての手順は、学校コミュニティの多様な特性を考慮 して設計および実施されます。

#### 児童虐待の種類と危害の指標

子供のブセは多くの形を取ることができます。加害者は、親、介護者、学校職員、ボランティア、別の大人、あるいは別の子供であってもよいです。児童虐待の性質は複雑です。乱用は時間の経過とともに発生する可能性があり、潜在的なリスク指標は検出が困難であることが多い.したがって、児童虐待の申し立てを報告するための法的義務は、事件の状況によって異なる場合があります。

児童虐待は、児童の幸福と安全行動 2005(Vic)で次のものを含むように定義されています。

- 性犯罪;
- グルーミング:
- 身体的暴力:



- 深刻な感情的または心理的危害:
- 深刻な無視.

家族の暴力は、2008年の家族暴力保護法(Vic)の下で、be 虐待、脅迫、支配、強制行動などの家族の暴力の影響を子供に聞いたり、目撃したり、さらしたりする行動を含むように定義されています。 家族の暴力は、児童幸福と安全法における「児童虐待」の公式定義の一部を形成するものではありませんが、家族の暴力が子供に与える影響は - 、例えば、子供に深刻な感情的または心理的危害を引き起こす児童虐待の一種である可能性があります。

児童虐待は、子供の身体的または感情的な健康、発達および幸福に大きな影響を与える可能性があります。若い子供ほど脆弱になり、深刻な結果が生じる可能性が高くなります。

児童虐待や怠慢の多くの指標があります。単一の指標、あるいはいくつかの指標の存在は、虐待や無視が発生したことを証明するものではありません。 しかし、指標の繰り返し発生、または複数の指標の発生は、児童虐待や無視の可能性をスタッフに警告する必要があります。 児童虐待や怠慢の可能性を示す指標は関係していますが、どの指標を報告する必要があるかを知ることが重要です。

以下に関する懸念事項を報告することが義務付けられている。

- 身体的虐待:
- 0

義務付けられていないが、DHHS 児童保護に報告することも必要な場合があります。

- 感情的な虐待:
- 無視:
- 医療無視:
- 家族の暴力;
- 人身売買(強制結婚を含む)
- 性的搾取(例:著述、著述を含む)
- 行動を取るリスク;
- 女性の生殖器の突然変異;
- 胎児へのリスク;
- 性的虐待行為を示す子供または若者。



子供の活気ある a ブズは、より一般的に知られている人によって実行,され、子供によって信頼され、またしばしば教会などの家族、地域社会、学校、および/または他の機関内で非常に信頼されている人です。

すべての種類の児童虐待の完全な定義と、性的暴行の指標の包括的なリストと、性的暴行の加害者の特定に関するアドバイスについては、プロテクトを参照してください<u>。</u>

#### 児童保護報告義務のソース

1) 子供・青少年・家族法 2005 年(Vic.)

#### 必須レポート

強制報告は、身体的傷害や性的虐待に関する害から子供を保護するために、2005 年児童青少年家族法(Vic.)(法)に基づく法的要件です。 子供は、法律の関連部分の目的のために、17歳以下の任意の人です。 この法律に基づき義務付けられた学校職員は、義務を遂行する過程で、子供が身体的、感情的、心理的、発達上の危害または性的虐待からの保護を必要としており、子供の両親が子供を保護することを望まない、または保護することができないという合理的な信念を形成し、その信念をできるだけ早く DHHS 児童保護とその根拠に報告しなければならない。 その後の報告は、mandated 記者が信念のさらなる合理的な根拠を認識する各機会に行われなければなりません。

#### 合理的な信念

スタッフが子供や若者の安全と幸福を懸念しているとき、彼らは関連機関に報告を行うべき かどうかを判断するために、その懸念を評価する必要があります。すべての関連情報と観察 を考慮するこのプロセスは、「合理的な信念」を形成すると呼ばれます。

「合理的な信念」や「合理的な理由での信念」は、証拠を持つことと同じではなく、単なる 噂や憶測以上のものです。 同じ立場の合理的な人物が同じ理由で信念を形成したならば、 「合理的な信念」が形成されます。

次の場合、「合理的な信念」が形成される可能性があります。

- 子供は、身体的または性的虐待を受けたと述べています。
- 誰かが虐待されたと信じていると言う人は誰でも、 これは自分自身について話している子供を含むかもしれません。



- 「保護:ビクトリア朝の学校におけるあらゆる形態の虐待の特定と対応」で説明されているように、身体的または行動的な虐待の指標を観察します。':
- 子供または若者が性的虐待や年齢不適切な行動を s 示す(
- 子供の行動や発達の専門的な観察は、子供が身体的または性的虐待を受けているか、虐待される可能性が高いという信念を形成する原因となります。

児童虐待や無視の可能性を示す指標は関係ありませんが、子供の身体的または性的虐待を示唆する多くの指標の存在は、報告しなければならない mandated レポートの心の中に「合理的な信念」を形成するのに十分である可能性があることを理解することが重要です。

2) 犯罪法 1958 (ヴィック州)

信頼の裏切りの報告に応じて、3 つの新しい刑事犯罪が犯罪法 1958(Vic.)の下で導入されました:

- 1. 犯罪を開示しなかった場合、成人は子供に対して性犯罪が行われたという合理的な信念を警察に報告する必要があります。
- 2. 組織の誰かによる児童の性的虐待のリスクを知っていて、リスクを軽減または削除する 権限を持っていたが、そうしなかった組織内の人々に適用される攻撃を保護する失敗:
- 3. 児童の性的虐待を行う目的で、子供またはその両親とのコミュニケーションを対象とするグルーミング犯罪。

#### 開示の失敗

ビクトリア州で 16 歳未満の子供に対して成人が性犯罪を行っているという合理的な信念を 形成する職員は、その情報を警察に開示する必要があります。

警察に情報を開示しなかったことは、1958 年犯罪法第 327 条(ビクトリア州)に基づく刑事犯罪であり、子供たちと一緒に働く専門家だけでなく、ビクトリア州のすべての大人[18 歳以上]に適用されます。子供や若者が性的虐待を受けている、または性的虐待からの保護を必要としている場合の懸念を報告する時期については、付録 2 を参照してください。

その義務は、情報が DHHS 児童保護に既に報告されている場合などの限られた状況を除き、可能な限り速やかに警察にその情報を開示することです。



「開示の失敗」犯罪の詳細については、「-司法省と規制 - 犯罪の開示の失敗と信頼の裏切り:ファクトシートは、ナザレ大学児童安全保護方針の添付ファイルとして含まれている and Protection Policy - セクション 1 を参照してください。

#### 保護の失敗

組織に関連付けられている成人(従業員、請負業者、ボランティア、スポーツコーチ、訪問者など)が、組織の世話または監督を受けている 16 歳未満の子供に性的虐待のリスクがあることを認識した権限の立場にある職員は、そのリスクを軽減または削除するために合理的な措置を講じる必要があります。

組織に関連する成人からの性的虐待のリスクから組織の子供を保護するための合理的な措置 を講じなかったことは、1958 年犯罪法(Vic.)のセクション 49C(2)に含まれる刑事犯罪です。

「保護の失敗」犯罪の詳細については、「-司法省と規制 - 犯罪を保護しなかったことと信頼の裏切り:ファクトシート 9 は、ナザレ大学児童安全保護ポリシーの添付ファイルとして含まれています and Protection Policy」を参照してください。

#### グルーミング

グルーミングの犯罪は、将来の性行為のために子供を準備または「グルーミング」するために設計された略奪的な行為を禁止し、犯罪法  $1958({
m Vic.})$ のセクション 49B(2)に含まれています。

この犯罪は16歳未満の子供とのコミュニケーションに適用されます。

グルーミングは、ソーシャルメディア、ウェブフォーラム、電子メールを介して、例えば、teraction で、直接またはオンラインで行うことができます。犯罪は 18 歳以上の人が犯すことができます。 18 歳未満の人のコミュニケーションには適用されません。

「グルーミング犯罪」の詳細については、「 - 法務と規制の部門 - グルーミング犯罪と信頼の裏切り:ファクトシート」(ナザレ大学児童安全方針の添付ファイルとして含まれる)を参照してください。

#### 3) 教育訓練改革法 2006 (Vic.)

子どもの安全の観点から、教育訓練改革法 2006(Vic.)の主な機能は次のとおりです。



- 学校が教師に対して行動を起こした場合、学校にビクトリア朝教育研究所(VIT)に通知 するよう要求する。
- ビクトリア朝の子供の安全基準を遵守し、すべてのビクトリア朝の学校の登録要件を確認してください。

#### ケアの義務

学校職員は、子どもや若者を、合理的に予見可能な危害から保護するために合理的な措置を講じる義務があります(この義務はすべての学校職員に適用されます)。 何が合理的なステップを構成するかの問題は、各ケースの個々の状況に依存します。合理的または勤勉な専門家が同じ状況で行動したであろう方法で行動しなかった場合、職員は学生に対する注意義務を破る可能性があります。

職員の介護義務の範囲と児童虐待の疑いに関連して取ることができる合理的な措置の例の詳細については、ビクトリア朝の学校におけるあらゆる形態の虐待の特定と対応に関して、プロトコル Protect:あらゆる形態の虐待を特定し、対応する」を参照してください。

#### 手順

ナザレ・カレッジは、子供や若者が尊敬され、声を聞き、安全で安心できる学校環境を作り 出す道徳的、法的、使命主導の責任を負っています。

ナザレ大学に関わるすべての人は、すべての子供と若者の幸福と安全が彼らが行うすべて のことと彼らが行うすべての決定の最前線にあることを確実にするために、彼らが個別かつ 集団的に持っている重要かつ特定の役割を理解する責任があります。

すべての学校が学校のための4つの重大な行動を表示することはカトリック教育メルボルンの方針です:職員室やその他の戦略的分野における事件、開示、児童虐待の疑いの図に対応し、すべての学校職員が児童保護事件を目撃したり、開示を受けたり、子供が行われたという合理的な信念を形成したりする行動を確実に確認します。、または虐待される危険性がある

#### 児童保護 の懸念を報告する第1の対応

共同プロトコルにおける児童保護の懸念に対応し、報告するアプローチには、4 つの重要な行動 f または学校が組み込まれています。参照: 学校における 4 つの重要な行動: 事件への対応、開示、子ども Abus e.e.



4 つの重要な行動を学校に従う前に、スタッフはまず、子供を保護するために行動を起こさなければならないかどうかを決定する児童保護事件を認識する必要があります。

#### 児童保護事件に気づく

学校職員が、子供が虐待を経験しているか、または経験する危険性があることに気づくには、主に4つの方法があります。

- 1. **事件を目撃** する 子供が虐待を受けたと思われる事件を目撃した場合は、まず関係する子供の安全を守るために直ちに行動を起こしてから、学校のための 4 つの重要な行動に直行する必要があります:インシデントへの対応、開示、児童虐待の疑い (付録 1)。
- 2. **疑惑を形成**する 子供が虐待を受けたり、虐待されたりしている疑いはすべて、虐待が取られている、または学校の敷地や地域の外で行われる可能性があるという疑いを含め、真剣に受け止めなければなりません,。あなたの疑惑が合理的な信念に発展した場合は、学校のための4つの重要な行動を行動し、参照する必要があります:事件への対応、開示と児童虐待の疑い(付録 1)。.
- 3. **現在の学生に関する開示を受ける** すべての開示は真剣に扱われなければなりません。 学校の4つの重要な行動を直ちに参照してください:事件への対応、開示と児童虐待の 疑い(付録 1).
- 4. 元生徒に関する開示または元生徒からの開示を受ける 元生徒が現在学齢期でビクトリア朝の学校に通っている場合は、直ちに学校のための 4 つの重要な行動を参照する必要があります:事件への対応、開示児童虐待の疑い (付録 1)。 元生徒が学齢期を経ておらず、ビクトリア朝の学校に通っていない場合は、その開示を DHHS 児童保護に報告する必要があります。

#### メモ と レコード

スタッフは、すべての<u>ビクトリア朝の学校のためのテンプレート:疑わしい児童虐待への対</u> <u>応</u>を使用して、児童虐待の事件、開示および申し立てに関する明確かつ包括的なメ モを保持する必要があります。

開示を管理する方法の戦略については、<u>保護: ビクトリア朝の学校におけるあらゆる形態の</u> 虐待の特定と対応- Sec 1 を参照してください(付録 3.



#### F私たちの Сリティカル A クシオン

児童保護事件、開示または疑念に対応し、報告する際に取られなければならない 4 つの重大な行動があります:

- 1. 緊急時への対応
- 2. 当局への報告;
- 3. 両親/介護者への連絡:
- 4. 継続的なサポートの提供:

#### 重大なアクション 1 - 緊急事態への対応

この最初のステップは、子供が虐待を受けたばかりか、すぐに危害を受けた場合にのみ適用されます。これに当てはまらない場合は、重大なアクション 2: 当局への報告に直接進みます。子供が虐待を受けたばかりまたは危害を受ける危険がある場合は、次を含む子供を保護するための合理的な措置を講じなければなりません。

- 被害者と関係する他の人を分離し、関係者全員が学校に出席している場合、職員によって別々に監督されていることを member of staff 保証する。
- 応急処置の管理や救急車の 000 を呼び出すなど、必要に応じて緊急の医療援助を手配し、提供する。
- 虐待に従事したとされる人物が、あらゆる人の健康と安全に直ちに危険をもたらす場合 、緊急の警察支援のために 000 を呼び出す。
- 児童保護事件が学校で発生した場合、学校職員は、環境、衣類、その他のアイテムを保護するための合理的な措置を講じ、警察または関係当局が敷地内に到着するまで、潜在的な目撃者が事件について話し合うことを防ぐ必要があります。

#### 重大なアクション 2 - 当局への報告

児童虐待の疑いのある、または申し立てられたすべての形態および事例は、適切な権限に報告されなければならない。重大な安全衛生上の懸念に対処するとすぐに、スタッフは可能な限り早く児童保護事件、疑いまたは開示を報告するための措置を講じなければなりません。

DHHS 児童保護は、重大な危害の危険にさらされている子供たちを保護するビクトリア朝の 政府機関です。 児童虐待に関するすべての事件、疑い、開示は、事件が性的虐待や身だし なみを伴う場合を除いて、DHHS 児童保護に報告する必要があり、その場合は警察に報告す



る必要があります。 子供の身体的または性的虐待を報告しなかったことは刑事犯罪です。 詳細については、このポリシーの「開示の失敗」セクションを参照してください。

虐待の疑いのある場所や申し立てが学校内から来たのか、子供の家族やコミュニティ内から来たのかによって、通知が必要な報告手続きや当局は異なります。 DHHS と DET は、意図的に「合理的な信念」の形成のための低い閾値を設定しました。

学校のための4つの重大な行動:事件への対応、開示、児童虐待の疑いは、すべての学校職員ができるだけ早くすべての事件、疑惑、虐待の開示を関係当局に報告することを義務付けています。

#### 必須レポートを作成する方法

表 1.1 「必須レポートを作成する場合」では、児童虐待や児童保護に関する必須レポートを作成する際に含める情報を示しています。子供が危害を受け直す危険がある場合は、直ちに警察に連絡してください。 Th 次の表は、子供や若者が虐待を受けている、または保護を必要としているという懸念を報告する時期を示しています。



P4.8

1.1 フローチャート – 必須レポートの懸念に対応する



#### ナザレカレッジ

#### 児童保護・安全ポリシー

P4.8



You are concerned about a child because you have:

- received a disclosure from a child about physical or sexual abuse or other types of abuse or neglect
- observed indicators of physical or sexual abuse or other types of abuse or neglect
- been made aware of possible harm via your involvement in the community external to your professional role.

Do your concerns relate to a child in need of immediate protection, or have you formed a belief that a child is at significant risk of harm? If your concerns relate to physical or sexual abuse, then it is **mandatory** to make a report – **Yes/No**. For some other concerns it is a requirement to contact Victoria Police (e.g. suspected grooming or failure to disclose and failure to protect).



Contact your local Child
Protection Intake provider to
report a concern about
physical or sexual abuse

#### **DHHS Child Protection**

Have notes ready with your observations and child and family details.



Do you have other significant concerns that a child & their family need a referral to Child FIRST for family services?



Contact your local Child FIRST provider.

Have notes ready with your observations and child and family details.

#### Note:

Non-mandated staff are also able to report their concerns, and under the <u>Crimes Act 1958 (Vic.)</u> are legally obliged to report if a reasonable belief has been formed that a sexual offence has been committed in Victoria by an adult against a child.

NO



Consider level of immediate danger to the child.

- 1. Ask yourself:
  - a) Have I formed a belief that the child has suffered or is at risk of suffering significant harm? YES/NO
  - b) Am I in doubt about the child's safety and the parent's ability to protect the child? YES/NO

If you answered yes to a) or b), contact <u>DHHS Child Protection</u> to make a mandatory or protective report.

If you have significant concerns that a child and their family need a referral to Child FIRST for family services, contact

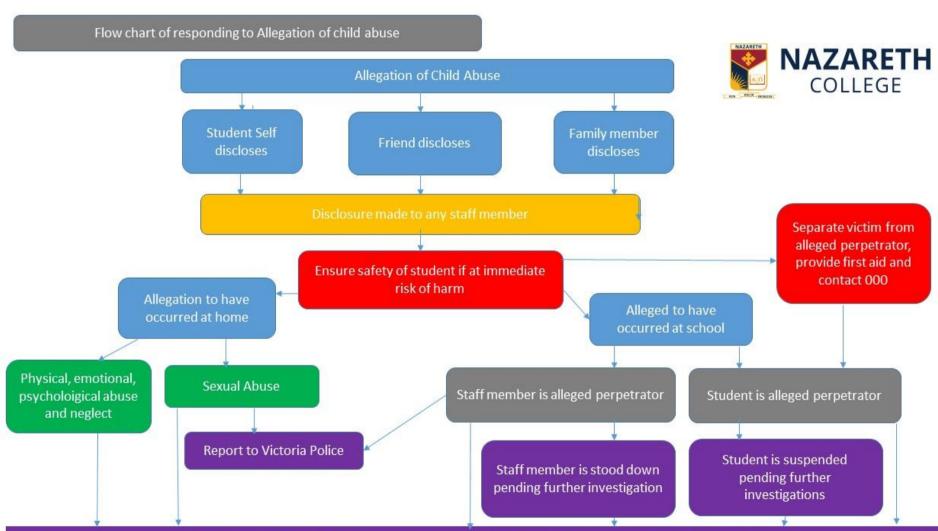
local Child FIRST provider.



ナザレカレッジ

児童保護・安全ポリシー

P4.8



Record what student has disclosed to you in 'PROTECT Template" and also note any observations of indicators of abuse. Contact DHHS Child Protection to make a report and make note of recommendations made by intake worker. Inform Child Safety Officer and contact CEM Well-being Duty Officer on 9267 0228'



#### 1.1 必須レポートを作成する場合

| レポートの種類   | 誰によって   | 誰に                    |
|---|---|-----------------------|
| 義 務 的 な 報 告 DHHS 児 童 保 護 マンダット ed 記者は、職業を実践したり職務を遂行する過程で、身体的傷害や性的虐待の結果として、子供または若者が保護を必要としているという合理的な理由できない、または不本意である場合、できるだけ早く報告する必要があります。  虐待や無視による身体的傷害 これは、子供が故意に引き起こされたり、身体的処罰や身体的に攻撃的な子供の治療の不注意な結果である可能性のある親または介護者から傷害を受ける状況を指します。身体的傷害は、親または介護者からの怠慢によっても生じる可能性があります。  子供より大きくなったり、子供より大きくなったり、またはより大きい人が子供を性行為に関与させるときに起こる性的虐待。物理的な力が関与することがあります。 | 委任された記者<br>教育訓練改革法 2006(Vic.)、<br>(Vic.), 政府および非政府学校の校長、登録医療従事者、看護師、心理学者、警察のすべてのメンバーに従って教えるために登録された、または教える許可を持っている教師。 | DHHS児童保<br>護に連絡す<br>る |



保護を必要とする子供

ナザレカレッジ 児童保護・安全ポリシー P4.8

#### 1.2 義務付けられていないが、レポートが必要な場合

| は、次のいずれかの理由で子供が保護を必要としていると合理的な理由で考える場合、報告を行う可能性があります。  ・ 子供は放棄され、子供の世話をする意欲とできる他の適切な人はありません。 ・ 子供の両親は死んでいるか無力であり、子供の世話をする意欲と可能な他の適切な人はいません。 ・ 子供は身体的な傷害の結果として苦しんでいるか、または重大な危害を受ける可能性があり、両親は子供を保護することができないか、または不本意です。 ・ 子供は、性的虐待の結果として苦しんでいるか、または重大な危害を受ける可能性が高く、両親は子供を保護することができないか、または不本意です。 ・ 子供は苦しんでいるか、感情的または心理的な害を受ける可能性があり、両親は子供を保護することができないか、または不本意です。 ・ 子供の身体的発達または健康は、著しく被害を受ける可能性が高く、両親は基本的なケア、または効果的な医療または他の修復ケアを提供することができないか、または不本意である。 | 任意の人 | DHHS 児童保護に連絡する         そして         犯罪が行われたことは         明らかな場合、ビクト         リア警察。 |
|--|------|--|
| 治療を必要とする小児 10 歳以上の 15 歳未満の子供が性的虐待行為を行ったために治療を必要としていると合理的な理由で判断した場合、誰でも報告を行う可能性があります。子供の即時の安全について重大な懸念がない場合は、チャイルド FIRST に連絡してください。   | 任意の人 | DHHS 児童保護また<br>はチャイルドファース<br>トに連絡する  |
| 子供の幸福に関する重大な懸念<br>学校職員は、子供の幸福に重大な懸念があり、子供の即時の安全が損なわれない場合、DHHS チャイルドプロテクションまたはチャイルドファーストに助言を求めたり、紹介することができます。スタッフは、関連情報を Child FIRSTと共有し、紹介の評価を完了する必要があります。   | 任意の人 | DHHS 児童保護また<br>はチャイルドファース<br>トに連絡する  |



#### 1.3 刑事犯罪を報告する場合

| レポートの種類   | 誰によって   | 誰に      |
|---|---------|---------|
| 16 歳未満の子供に対して大人が性犯罪を犯したという合理的な信念。 ビクトリア州で16 歳未満の子供に対して成人が性犯罪を行っているという合理的な信念を形成する成人は、その情報を警察に報告する必要があります。 以下の状況で報告しない場合、犯罪の罪を犯しません。 ・ 被害者は16歳以上であり、情報に基づいた意思決定を行う能力を制限する知的障害を持っていません。そして、彼/彼女は警察に報告された情報を望んでいません。 ・ 被害者は、登録された医療従事者またはカウンセラーとして、あなたとの治療上の関係の過程で自信を持って情報を開示しました。 ・ 被害者は2014年10月27日までに16歳になった。 ・ 要件を遵守しなかった場合の合理的な言い訳は次のとおりです。 1)情報は、すでにすべての情報を開示する警察またはDHHS児童保護に報告されている合理的な信念。 2)開示が(加害者の申し立てを除く)誰かを危害の危険にさらすという合理的な恐怖。 | 18歳以上の方 | ビクトリア警察 |

#### 2. 強制報告と刑事犯罪に関する報告の作成方法

#### レポートを作成する

緊急時や子供が命にかかわる危険にさらされている場合は、トリプルゼロ(000)または地元の警察署にお問い合わせください。 あるいは、家族単位内の子供の即時の安全に関する懸念を DHHS 児童保護に報告するには、地元の児童保護 (付録 4 を参照)を参照してください。 時間後に 13 12 78 の児童保護危機ラインを呼び出す場合。



以下の表は、児童虐待や児童保護の懸念に関する必須の報告を行う際のナザレ・カレッジの スタッフの手順を説明しています。 次の情報はまた、強制報告と刑事犯罪の両方の記録保 持に関連する実用的なガイダンスを提供します。

#### 表 1.4 必須レポートの作成

| ステップ         | 説明  |
|--------------|---|
| 1 メモを保持する    | 個々のスタッフは、報告が必要であるかもしれないという信念を形成するために彼らを導いた懸念の観察と日付のメモを保持します。 これは、スタッフが行動や一連の行動や懸念を報告するという点で考えるのに役立つかもしれません。 メモには以下を含める必要があります。 ・ 懸念事項の説明 (例えば、身体的傷害、行動); ・ 懸念の原因(例えば、観察、子または他の親からの報告; ・ 懸念の結果として取られた行動(例えば、校長、児童安全局 rs との協議、DHHS、警察に報告する。   |
| 2. 懸念事項を話し合う | 児童虐待事件、開示、疑惑の複雑さから、児童の身体的または性的虐待の疑いに関する懸念や観察について、校長、児童安全責任者、またはカトリック教育メルボルンの学生ウェルバイス情報ラインと秘密裏に話し合うことをお勧めします。ナザレ大学の児童安全事務所 rs の立場にある人々は、次のとおりです:the,アシスタント校長,ウェルウェルスとスクールカウンセラーのディレクター. これは法的要件ではありませんが、この性質の問題に関わるすべての人にサポートが提供されることを保証するのに役立ちます。これらの議論の機密性を維持する必要があります。 その後、子供や若者に関するレポートを作成する必要があるかどうか、およびレポートを作成する必要がある人について、独自の評価を行う必要があります。 校長、児童安全責任者、またはカトリック教育メルボルンの代表者が虐待の疑いのある報告を進めないように助言したとしても、虐待や虐待の疑いを報告する義務が存在することを覚えておくことが重要です。 |



# 収集とドキュメント情報

レポート作成に必要な関連情報を収集します。これには、次の情報が含まれます

- 氏名、生年月日、子供の居住地住所
- 懸念事項の説明とそれらの懸念の理由
- これらの懸念の原因 例えば、観察、子供または他の人からの報告;
- 個々のスタッフの子供との関わり
- 子供に関わる可能性のある他の機関の詳細:
- 懸念の結果として取られた行動(.例えば A、Ssistant Principal との領事のテグレーション、DHHS に報告する)。

この情報は、すべてのビクトリア朝の学校のテンプレートである児童虐待の疑いに対応する方法を使用して収集および文書化する必要があります。このテンプレートは、Police または DHHS 児童保護のいずれかにレポートを作成するときに、できるだけ多くの情報を記録するために使用されます。テンプレートを完成させることは、レポート時間に影響を与えないことが重要です。 c ヒルドが直ちに危険にさらされている場合、学校のスタッフはすぐに警察に問題を報告する必要があります。

#### 4. レポートを作 成**する**

生命を脅かす電話 000 または地元の警察署である懸念を報告する。

虐待の原因が学校内から来るところ。つまり、虐待の疑いまたは申し立てには、学校の職員、volunteer または請負業者が関与します: Cont は警察を行動します。 警察は、 この場合、必要に応じて DHHS 児童保護に連絡します。 また、内部で次の情報を報告する必要があります。

- Pリンシパル(PPリンシパルが申し立てに関与している場合は、CEMに連絡してください)。:
- チャイルド S アフェティ O フィス rs;;
- カトリック教育メルボルンの学生ウェルであること情報ライン(9267 0228)

0

虐待の疑いのある場所や、虐待の疑いのある場所が、子供の家族またはコミュニ ティ内から来ている場合は、次の手順を実行する必要があります。

• 警察に性的虐待や身だしなみを報告する。



- 児童虐待による保護が必要であると考えられる場合、または虐待の形で被害を受けるおそれがある場合、DHHS児童保護に問題を報告してください。時間が経過した場合は、13 12 78 に児童保護危機ラインを呼び出します。
- 内部で報告:P リンシパル、CC ヒルド S アフェティ O フィサーとカトリック 教育メルボルンの学生ウェルビーブ情報ライン(9267 0228).

DHHS および/またはビクトリア警察に報告を行うスタッフは、カレッジリーダー 船または C ヒルド S アフェティ O フィサーのメンバーによってサポートされます。

最後に、レポートを作成するために必要な関連情報を伝えます。これには、次の 情報が含まれます。

- → 子供の名前、生年月日、年齢、住所
- 傷害または行動が虐待の結果であると信じる理由。
- 子供または子供に対する即時の危険の評価(虐待の申し立ての所在に関する 情報が要求される場合があります)。
- 観察された傷害または行動の説明。
- 子どもの現在の所在。
- 家族に関するその他の情報。
- 個々のスタッフが子供や若者と関わること。
- 子供や若者に関わる可能性のある他の機関の詳細
- 報告する人物の子との関係。

必須の記者として、上記の情報がすべて利用できない場合でも、DHHS に懸念事項を通知する必要があります。 あなたが信念を形成するための合理的な根拠を持っているときにこれを行わないと、犯罪であり、罰金を被る可能性があります

#### s. レポートのドキ ュメント作成レ コード

次の情報を含むレポートの記録を作成します。

最初に「児童虐待の疑いに対する対応:すべてのビクトリア朝の学校のためのテンプレート」と警察または DHHS 児童保護のいずれかに提供される追加情報は、問題を調査している外部当局の要請に応じて記録にアクセスできるように、学校によって最低 7 年間安全に保存され、維持される予定です。



|         | 学校の他の誰 が知らされるべきかは、誰か知らされるべきです。 機密性の必要性は、学生と家族の利益のために常に覚えておく必要があります。 学生の幸福が影響を受ける場所だけが「知る必要がある」という根拠に基づいて議論されます。 すべての連絡は、アシスタントプリンシパルから直接来ます   |
|---------|---|
| 6.追加の手順 | 留学生の場合、校長補佐は、教育訓練部の国際教育課に通知する必要があります (03) 9637 2990 学生に対して適切なサポートが配置されていることを確認します。 さらに、児童保護事件、開示または疑惑が学校の留学生を含み、学校がその学生に対して適切な宿泊施設と福祉(CAAW)の確認書を発行した場合(それによって子供の宿泊施設、支援、一般的な福祉の責任を負う)学校も VRQA に連絡する必要があります。 アボリジニまたはトレス海峡諸島民の学生の場合、校長補佐は、アボリジニとトレス海峡諸島民教育チームが学生に適切な支援を手配することを確実に、CEM または地域事務所に通知する必要があります。  |
| 7. 注    | <ul> <li>児童安全局 rs は、懸念の原因である報告スタッフと学生をサポートします。<br/>適切なサポートは、内部および外部のサポート構造で構成できます。</li> <li>すべてのナザレ大学のスタッフは、毎年「子供と若者の安全を守る」義務的な報告専門学習モジュール(カトリック/独立した学校用)を完了するために必要とされます。このモジュールを完了するために適切な時間が割り当てられていることを確認するのは、プリンシパルの責任 to complete this module http://www.elearn.com.au/deecd/mandatoryreporting/</li> <li>また、毎年、スタッフに児童保護説明会を提供しています。</li> </ul> |

#### チャイルドファースト/オレンジドア

子供が虐待を受けていないと信じているが、それでも彼らの幸福に重大な懸念を抱いている場合は、それでも行動しなければなりません。これには、ChildFIRST/オレンジドアへの紹介やアドバイスの提供が含まれる場合があります。

ChildFIRST/オレンジドアは、懸念される子供に関する機密の紹介を受けることができる地元の登録コミュニティサービスによって運営されている家族情報紹介サポートチームです。それは子供を保護するための法的権限を持っていませんが、家族サービスに問題を参照することができます。



次の場合は、ChildFIRST/オレンジドアに報告する必要があります。

- あなたは子供の幸福に対して重大な懸念を持っています。
- あなたの懸念は、子供に低から中程度の影響を与える状況についてです。
- 彼の子供の即時の安全は損なわれない。
- You と学校は、子供の両親/介護者と子供のモミ t/オレンジのドアへの紹介について話し合い、すべての当事者がこの決定を支持しています。

子供の両親/介護者が紹介を支持しないと信じている場合は、DHHS 児童保護に関する情報を参照することができます。

子供に対する懸念に応じてどのような行動を取るかわからない場合は、大学の児童安全責任者または学校のリーダーシップチームのメンバーに話すか、DHHS 児童保護またはChildFIRST / オレンジドアに連絡してさらなるアドバイスを求めてください(付録 5)。詳細については、「additional 保護:ビクトリア朝の学校におけるあらゆる形態の虐待の特定と対応」を参照してください。

#### 追加のレポートの作成

報告を行った後、子供が危険にさらされ、保護が必要であると疑い続ける可能性があります。それ以上の観察は記録され続け、子供が危険にさらされ、保護を必要としている可能性が高いという信念が形成されたそれぞれの別々の機会に、報告を行う必要があります。

これが 18 歳以上の人と 16 歳未満の子供を含む性犯罪に関連しているという疑いがある場合は、警察に報告する必要があります。

職員が、同じ機会に同じ子供について合理的な信念を形成していることを認識し、同じ虐待の指標に基づいて、適切な権限に報告した場合、最初のスタッフはそれ以上の報告をする必要はありません。しかし、最初のスタッフが、さまざまな観察、さらなる指標または追加情報に基づいて、虐待の合理的な信念または子供への虐待の重大なリスクを形成している場合は、この追加情報を詳述する適切な権限にさらなる報告を行う必要があります

クリティカルアクション 3 - 両親/介護者への連絡



学校の子供が虐待を受けた、または虐待を受ける危険性があると疑われる場合、当局に報告された後、子供の親/介護者にできるだけ早く通知することが重要です。しかし、t彼の学校は、親/介護者に連絡することが適切であることを確認するために、警察/DHHS 児童保護からの助言を求めなければなりません:

- 警察または DHHS 児童保護からの助言は、子供の両親/介護者が虐待に従事したと言われているかどうかなど、多くの要因 に依存します。
- 親/介護者への開示は、子供に対するさらなる虐待を侮辱する可能性があります。
- ここで W 子供は成熟した未成年者(少なくとも 17 歳で、自分で決定を下すために十分に成熟し、知的であると評価される)であり、両親/介護者に通知しないことを要求しました 学校は別の責任ある大人が親/介護者の代わりに通知されることを主張する必要があります。
- 親/介護者に通知することは、外部当局による問題の調査に悪影響を及ぼす可能性があります。

虐待や虐待のリスクの疑いがまだ合理的な信念を保証していない場合、学校が慎重に上記の要因を検討した後、親/介護者にも速やかに通知する必要があります。親や介護者とこの会話をする方法の詳細なガイダンスについては、「保護:ビクトリア朝の学校におけるあらゆる形態の虐待の特定と対応」を参照してください。

#### 重要なアクション 4 - 継続的なサポートの提供

児童保護事件を目撃したり、開示を受けたり、児童虐待の疑いを持ったりする職員は、児童 保護問題の影響を受けた学生を支援し、学校で支援され、安全であると感じられるようにす る上で重要な役割を果たします。

学校の生徒に提供されるサポートは次のとおりです。

- 適切な場合は、学生とその両親/介護者との定期的なコミュニケーション。
- 学校のウェルイングスタッフと教師の学生支援グループを招集して、影響を受けた生徒 の計画、支援、監視を行う。
- 事件の影響を受けた学生のための学生支援計画の開発は、彼らの関与に応じて適切なレベルのケアとサポートが提供されることを保証する。



● 学校はまた、also 利用可能な学校ベースのサポートサービスの範囲の説明については、カトリック教育メルボルンの学生ウェルビーブ情報ライン(9267 0228)に連絡します。

外部当局が虐待や虐待のリスクの報告を調査している場合、P学校でのインタビューを通じて学生がサポートされるようにすることは、Pリンシパルの役割です。 このトピックの詳細については、「<u>学校ガイドライン 2.19a: 警察および DHHS のインタビュー プロトコル</u>- (付録 6)」を参照してください。

学校は、事件や開示の目撃後、または児童虐待の合理的な信念について外部当局に報告した学校職員が支援されることを保証する義務があります。ウェルビーイングサポートを必要とするスタッフは、1800 818 728 または accesseap.com.au の学校の従業員支援プログラム (EAP)プロバイダに連絡することができます。学校は、フォローアップサポートアクションが必要かどうかを特定するための報告がなされてから 4〜6 週間後に報告プロセスの見直しを行います。

次の表に、レポート作成の潜在的な結果を示します。

#### 3.2 レポート作成の潜在的な結果

| 潜在的な結果               | 説明   |
|----------------------|--|
| 機密性                  | <ul> <li>以下の場合を除き、記者の身元は機密のままでなければなりません。</li> <li>記者は、報告の子供、若い人または親に通知することを選択します。</li> <li>記者は、開示されている自分の身元に書面で同意します。</li> <li>裁判所または裁判所は、子供の安全と幸福を確保するために、記者の身元を開示する必要があると判断します。</li> <li>裁判所または裁判所は、正義のために、記者が証拠を提供する必要があると判断します。</li> </ul> |
| プロフェッショナ<br>ルプロテクション | 報告書が誠実に行われた場合:  ◆ それは、非専門的な行為または記者側の職業倫理の違反を構成するものではありません。  ◆ 記者は報告書に関して法的責任を負うことができない。  |



|            | 1  |
|------------|--|
| インタビュー     | DHHS 児童保護および/またはビクトリア警察は、親の知識や同意なしに学校で子供や若者のインタビューを行うことができます: ・ 学校で子供や若者にインタビューすることは、例外的な状況でのみ発生し、それがこの方法で進めることが子供の最善の利益である場合にのみ発生する必要があります。 ・ DHHS 児童保護および/またはビクトリア警察は、学校の敷地内の子供や若者にインタビューする意思を P リンシパルまたは L イーダーシップ Team のメンバーに通知します。 ・ When DHHS 児童保護/ビクトリア警察官は学校の敷地内に来て、PP リンシパルまたは L イーダーシップ Team のメンバーは、彼らが子供や若者へのアクセスを許可する前に身分証明書を見ることを要求する必要があります。 ・ 子供や若者が DHHS 児童保護および/またはビクトリア警察のインタビューを受けている場合、学校のスタッフは子供や若者と協力的な大人のプレゼントを持つことを手配する必要があります。 これらの要求と学校の責任の詳細については、カトリック教育メルボルンの学校ガイドライン 2.19a:警察と DHHS のインタビュープロトコルを参照してください。 |
| 子供や若者のサポート | <ul> <li>DHHS 児童保護に関わる子どもを支援する職員の役割と責任には、以下のものが含まれます。</li> <li>DHHS 児童保護事件計画会に出席する児童または若者の支援者として行動する。</li> <li>専門家と連絡を取る子供の行動を観察し、監視する。</li> <li>子供の行動を観察し、監視する。</li> <li>専門家との連絡.</li> </ul>  |
| 情報の要求      | DHHS 児童保護および/またはチャイルドファーストおよび/またはビクトリア警察は、報告書を調査し、子供または若者にリスクを評価する目的で、子供または家族に関する情報を要求することができます。<br>特定の状況では、DHHS 児童保護はまた、子供の保護または発達に関する情報や文書を提供するために学校のスタッフや部門のスタッフを指示することができます。このような指示は書面で行われるべきであり、DHHS 児  |
| 証人召喚       | 童保護内の認可された人物によってのみ行われるべきです。  DHHS 児童保護がビクトリア州児童裁判所で保護申請を行った場合、申請者は証人召喚を発行して文書を作成したり、手続きに証拠を提出したりすることができます。   |

#### 苦情や懸念への対応



学校は、児童保護事件の学校職員管理に関する懸念や苦情を受ける可能性があります。これらの懸念や苦情は、学校 C の免責内の保護者/保護者または他の人によって表明される可能性があります。学校は、学校の方針やプロセスに関するすべての懸念、苦情またはフィードバックが効果的にキャプチャされ、適切に管理されることを確実にするために、内部苦情処理プロセスに従う必要があります。

最初のステップとして、学校は、苦情が児童虐待や児童虐待のリスクが報告されていないという懸念を提起しないことを保証することが重要です。

この場合、学校は学校のための4つの重要な行動に従う必要があります:インシデント、開示、児童虐待の疑いに対応して、学校コミュニティのメンバーからの苦情や懸念を通じて受け取った新しい情報が必要に応じて当局に報告されるようにする必要があります。

#### 指導原則

ナザレ大学の現在または過去の学生は、彼らの chool の経験のあらゆる側面について苦情を申し立てる権利があります。犯罪者 Act の申し立てを提起した申立人 A は、警察に正式な苦情を申し立てる権利を知らされます。すべての苦情は真剣に受け止め、できるだけ早く対処し、対応します。

ナザレ大学の学生が school で虐待を受けている状況では、school は、それが現在の、または元の学生であろうと、その人を支援し、支援する責任を完全に受け入れます。

ナザレ大学が苦情を支持すべきだと考えるとき、chool からの応答 s には何らかの賠償が含まれます。

賠償には以下が含まれますが、これらに限定されません。

- 車 e のナザレ大学の義務の失敗の任意の認識:
- 申立人と合意した形式および方法での正式な謝罪の提供:
- カウンセリングやその他のサポートサービスへのアクセスの支援
- サザレ大学の学生に対する同様の性行為の再発を防ぐための改善措置:
- 財政的な支払いの評価は、ナザレ大学諮問委員会および正規管理者の承認と共に、校長 の推薦を受けて請求者、被害者または被害者にのみ提供することができる。

子供の安全報告ポリシーは次のとおりです。



- すべての当事者のための手続き上の公平性の原則に基づくこと。
- 申立人を丁重に、支持的かつ専門的に扱う。
- プライバシーと機密性に対する人々の権利を尊重しながら、可能な限りオープンで透明 性を保つ。
- 合法的なアプローチではなく、人道的な見解を取る。
- 過去の不満に対処し、回復と癒しへの道筋を提供するコミットメントを反映する。
- スタッフが機密性と適切な記録保持を維持するように努める。
- 申立人の表明された願い、性別、文化、言語、アクセシビリティを、プロセス全体にわ たって考えてみましょう。
- 未テストの申し立てに関して、加害者の権利を尊重する。
- カレッジは、常に、blanking out<sup>2</sup>他者を識別する /削除する資料を削除する (他の人のプライバシー権を侵害する)を対象として、申立人に学生ファイルを公開します。
- 調査の過程で、識別されていない情報を使用することが可能な場合は、それを行います。
- 犯罪が行われたように見える場合、申立人は警察に通報するよう奨励されます。
- school は常にその法的および倫理的な結紮と一致する方法で行動します。
- 当局は、法律の下で義務付けられている場合、または ss chool がさらなる危害を防ぐために適切であると見なす状況(加害者がまだ school または他の場所で教えている場合など)に常に助言されます。この程度まで、 school は、申立人または申し立てられた加害者のいずれかに機密性に関する事業を提供することができない可能性があります。

カレッジは、そのケアの学生に発生した可能性のある性的虐待に関連するすべての苦情を調査します:

- 苦情とは、申立 s 人またはその代理人が口頭または書面で宿泊した chool に対する不満の登録です。苦情は、特定のエピソード、個人またはグループに影響を与えたサービスの提供の失敗の発生に関連している可能性があります。一般的な懸念の表現は苦情ではありません。
- 申し立てられた行為の被害者であった人またはその代理人によって苦情が行われる可能性があります。申立人が被害者でない場合、彼らは彼らが苦情を行うために被害者の認可を持っていることを実証する必要があります。
- 苦情は、現在または過去の従業員、請負業者、ボランティアまたは学生の行為に関連する可能性があります。



- 最初にレセプションまたはスタッフから受け取った場合、申立人はプリンシパルに問い 付けられるべきです。
- 校長は、申立人をナザレ大学児童保護報告ポリシーに説明し、言及し、申立人に書面で 苦情の概要を説明するよう促します。
- pリバシー法に従って、ナザレカレッジは、ナザレカレッジでの時間に関する情報を含む情報や記録への完全なアクセスとコピーを申立人に提供 College します。
- 校長はスクールカウンセラーのサポートを提供します。正規管理者は、虐待の申し立てについて通知されます。校長は、閣僚令第870番に従って、理事会議長、CEM、警察など、他の関係当局に助言する。
- 申立人が苦情を申し立てるのを望まないと判断した場合、校長は適切な支援者または団体を提供します。
- ナザレ大学は、特に現在または元学生の福祉に関する懸念を抱いている場合、苦情が取り下げられた後、調査を進めようとするかもしれません。ナザレ大学は、閣僚令第 870 の勧告に従います。

#### 調査

学校が特定の申し立て/噂/伝聞を認識すると、特定の詳細を書面で記録し、確認できる限り、閣僚令第 870 条に従って行動します。

#### それはこれらの問題を調査します:

- 苦情として正式化された場合。
- 現在の学生が虐待を受けたと言われている場合。

ナザレ大学 は、これが適切であると考える場合にそれらを調査することができ、この決定 を下す際に、次のような要因に関して考えます。

- 特定の状況に関する。
- 腐食性証拠が存在するかどうか(例えば、加害者に対する同様の申し立て)
- さらなる危害が加えられるという合理的な信念があるかどうか(例えば、加害者の容疑者はまだ school または他の場所で教えている);
- 被害者への潜在的な影響。

#### 現在の学生が関与する事件

カレッジは、学校のための4つの重要な行動に従います:事件への対応、開示と児童虐待の 疑いと最初の調査に子供SのアフェティOフィッカーを含みます.



#### 過去の学生に関する事件

過去の学生または彼または彼女の代表者によって行われた申し立てや苦情は、最初の連絡先 とメモを作成する校長(または代理人)に照会される必要があります。

- 正規管理者とカトリック教育メルボルンは、できるだけ早く通知されなければならない。
- 過去の学生の福祉が最も重要です。必要に応じて、カウンセリングサービスへの即時アクセスを提供する必要があります。
- 大学は、可能な限り、申立人に同情的で状況に適切な調査プロセスを採用しようとします。
- 校長は、関連する enior s s タフとの会議を招集し、調査を計画し、関連するすべての 日付、詳細、名前、場所を記録します。彼らは、バランスのとれた専門的な調査プロセスを確保するために、この時点で CEM などの外部機関を使用することを選択することができます。保険会社は、f または ormal 法的請求が行われた場合に通知され、関与する可能性があります。
- すべての証拠は、調査の結果を議論し、さらなる行動を決定する正規管理者に与えられます。
- すべての決定は、調査プロセスの最後に申立人に個人的に説明され、中継されます。
- 犯罪捜査の根拠がある場合、申立人は警察にこの問題を言及するよう強く促されるか、または義務的な報告の問題では、ナザレ・カレッジは問題自体を報告します。この場合、学校は学校に対する4つの重大な行動に従う必要があります:インシデントへの対応、開示、児童虐待の疑いにより、学校のC免除のメンバーからの苦情や懸念を通じて受け取った新しい情報Cが必要な場合は当局に報告されます。

#### 現在のスタッフメンバーが関与するインシデント

- 現在のスタッフに関する申し立てや苦情は、最初の連絡先とメモを作成するプリンシパルに照会される必要があります。
- プリンシパルはできるだけ早く通知され、彼らは正規管理者に通知します。
- 学校は、可能な限り、申立人に同情的で状況に適切な調査プロセスを採用しようとします。
- スタッフは彼らに対する申し立てを知らされ、問題が調査されている間に有給休暇を取るように求められます。



- 校長は、関連スタッフとの会議を招集し、調査を計画し、関連するすべての日付、詳細、名前、場所を記録します。CEM は、to バランスのとれた専門的な調査を確実にするために、プロセスを監督するよう助言され、招待されます。保険会社は、正式な法的請求が行われた場合に通知され、関与する可能性があります。
- すべての証拠は、調査の結果を議論し、さらなる行動を決定する正規管理者に与えられます。
- すべての決定は、調査プロセスの最後に申立人に個人的に説明され、中継されます。
- 犯罪捜査の根拠がある場合、申立人は警察にこの問題を言及するよう強く促されるか、 または、強制報告の問題において、ナザレ 大学は問題自体を報告します。
- 問題が報告可能な行為であると判断された場合、P リンシパルは chool の報告可能な行動方針に必要な手順 s に従います。

#### 参照

ビクトリア株式会社のカトリック教育委員会(CECV)2018、ビクトリア朝カトリック教育マルチエンタープライズ契約 2018、CECV。

http://www.cecv.catholic.edu.au/vcsa/Agreement\_2013/VCEMEA\_2018.pdf

カトリック教育のための会衆 1997, 第三千年紀のしきい値にカトリック学校,バチカン,http://www.vatican.va/roman\_curia/congregations/ccatheduc/documents/rc\_con\_ccatheduc\_doc\_270 41998 school2000 en.html.

教育省、2016、PROTECT:ビクトリア朝の学校におけるあらゆる形態の虐待を特定し、対応 する

ビクトリア州 2016, 児童安全基準 – 学校における児童虐待のリスクの管理: 閣僚令第 870、 教育訓練改革法 2006, ビクトリア州政府官報 No.S2.ビクトリア州議会、家族とコミュニティ 開発委員会、2013 年、信頼の裏切り



児童保護・安全ポリシー

P4.8

## セクション3

# 子どもの安全行動規範



#### 子どもの安全 – 行動規範

ナザレ大学では、私たちの学校の中心的かつ基本的な責任として、子供と若者のケア、安全、幸福を保持しています。私たちのコミットメントは、福音の中心にある各人間の愛、正義、神聖さを伴うイエス・キリストの教えと使命から引き出され、内在しています(CECV 児童安全に対するコミットメント声明)。個々の人間の人は、彼または彼女の物質的および精神的なニーズにおいて、キリストの教えの中心にある - 人間の昇進はカトリック学校の目標である理由である(カトリック教育のための会衆 1997、n. 9)。わたしたちの価値観は,イエス・キリストがモデルにした次の共通の価値観を証するというわたしたちの決意によって支えられています。

#### 目的

この行動規範は、ナザレ大学の子供や若者を性的、身体的、心理的、感情的虐待や無視から保護することに特に焦点を当てています。これは、s子どもの安全、若者の義務的な報告と安全、ビクトリア朝教育行動規範に関する児童保護法、chool ポリシーおよび行動規範を補完することを目的としています。

ナザレ大学のすべてのスタッフ、ボランティア、請負業者、聖職者、理事は、会員の 尊厳を尊重し、愛、他人へのケア、思いやり、正義の福音の価値を肯定する学校文化に積極 的に貢献することが期待されています。彼らは、子供の安全な原則と子供の会社に対する適 切な行動への期待を遵守する必要があります。

- 1. 学生の安全と幸福を守る:
- 2. ナザレ C の免疫のメンバーが声を持ち、子供の安全の問題で簡潔なエルンを上げる力を与える。
- 3. 子どもの安全に関するリスク管理と雇用におけるシンプルで明確で効果的な慣行 の実施

#### 学生の安全と幸福を守る

すべてのスタッフ、ボランティア、請負業者、聖職者、 ナザレ諮問委員会のメンバー は、 学生の安全と幸福を維持する責任があります。



- ナザレ大学の C ヒルド 保護と児童安全 P のオリシーを遵守し、常に児童安全へのコミットメントの学校の声明を支持:
- 私たちの世話をしている若者を虐待から守るために、あらゆる合理的な措置を講じてく ださい。
- 学校の全員を、C 肯定的で敬意を持った関係をモデル化し、安全で教育的で牧歌的な環境を維持する方法で行動することを尊重して、すべての人を扱う。
- アボリジニとトレス海峡諸島民の若者の文化的安全、参加、エンパワーメントを促進する。
- 文化的、または言語的に多様な背景を持つ若者の文化的安全、参加、エンパワーメントの促進
- 障害を持つ若者の安全、参加、エンパワーメントの推進
- 児童虐待の申し立てが行われた場合、学校 C ヒルド保護と児童安全 P のオリシーと立 法要件に従って、若者/人々ができるだけ早く安全であることを保証する。
- 学校に関連する連絡に関して、適切なプロトコルが、予定された就学時間外の学生との接触に従っていることを確認してください。
- CオンダクトのCオードは、例えば、日曜日のミサ、地元のスポーツチームのコーチング、地元の、イベントへの出席など、予定された学校の時間外に大学生や他の若者との相互作用に従っていることを確認してください。

#### 学生の安全と幸福を守る

すべてのスタッフ、ボランティア、請負業者、訪問者、聖職者、 ナザレ諮問委員会のメン バー は、以下の作業を行ってはなりません。

- 不必要に物理的であると解釈されるかもしれない若者と行動を示す:
- カリキュラムに密接に関連しない限り、若者の前で成熟したまたは大人の性質のオープンな議論に従事:
- 若者の前で不適切な言葉を使う。
- 若者の前で文化、人種やセクシュアリティに関する個人的な見解を表現する。
- 年齢、性別、人種、文化、脆弱性、セクシュアリティ、民族または障害に基づいて、あらゆる若者を差別する。
- 親または保護者の同意なしに、学習と教育に関連する活動の場合を除き、若い人を撮影 またはビデオ:
- アルコールや違法薬物の影響を受けながら若い人と一緒に働く:



- 学校環境や、学生が出席している他の学校のイベントでは、学校の方針に反してアルコールを消費したり、どのような状況下で違法薬物を服用する。
- 学校の Leadership Team の知識なしに学校外の若者やその家族と連絡を取る(例えば、時間外の家庭教師、私立のインストゥルメンタル/他のレッスンやスポーツコーチング後に無許可)。これには、通りで人を見るなどの偶発的な接触は含まれません。大学の外の学生と接触するスタッフは、s 行動規範の下部またはスタッフプロフェッショナル境界ポリサイで学生とのこれらの既知のやり取りをリストアップする必要があります。これにより、さまざまな活動や関連を通じて、スタッフが子の安全基準に対する相対イオンに自分自身を妥協しない意識の文化を作成することができます\*\*:
- カレッジリーダーシップの許可なしに、予定された学校の時間外に大学生と学校 関連の接触を持っています。

ナザレコミュニティのメンバーに**声を与え、子どもの安全に関する懸念を提起する** すべてのスタッフ、ボランティア、請負業者、聖職者、ナザレ諮問委員会のメンバー は、以下の責任を負います。

- 若者の意見や懸念に耳を傾け、対応する、彼らは彼らまたは他の若者が虐待されたこと、または y が彼らの安全や他の若者の安全を心配していることをあなたに伝えている場合は特に:
- 児童保護に概説されている児童虐待の申し立てを報告する 報告義務;
- 彼らは犯罪法 1958(vic.)学校の C ヒルド S アフェティ P オリシーに含まれている nd に 関連して、すべての報告義務を理解し、遵守する。
- Child Pロテクションと C ヒルド Safety S Section Two Reporting O の課税に概説されているように、子供の安全上の懸念を報告します。

ナザレコミュニティのメンバーが声を持ち、子どもの安全に関する懸念を提起する力を与 える上で

すべてのスタッフ、ボランティア、請負業者、訪問者、聖職者、ナザレ諮問委員会のメン バーは、以下の作業を行ってはなりません。

児童虐待の疑いや開示を無視または無視する。

子どもの安全に関するリスク管理と雇用における、シンプルで明確で効果的な実践



すべてのスタッフ、ボランティア、請負業者、聖職者、ナザレ諮問委員会のメンバーは、 以下の責任を負います。

- 大人が若者と二人きりではないことを可能にする限り保証する。
- College 雇用プロトコルにおける子どもの安全プロトコルの確保が実施される。
- cオントラクターの任命 nt と学校関連の仕事のためのリスク評価を確保することは、子供の安全を組み込みます。
- 学外学校関連学生の関与に対するリスクアセスメントの確保
- 大学で起こるすべてのものに子供の安全を組み込む。

## 児童の安全に関するリスク管理と雇用における、シンプルで明確で効果的な実践を実施する上で

すべてのスタッフ、ボランティア、請負業者、訪問者、聖職者、 members ナザレ諮問委員会のメンバーは、以下の作業を行ってはなりません。

- 好意((例えば、特定の若者のための贈り物や特別な扱いの提供)と見なすことができる若者との「特別な」関係を開発する。
- 若者を虐待の危険にさらす(例えばドアをロックすることによって):
- 若者との不必要な物理的接触を開始したり、トイレや着替えなど、若い人が自分で行う ことができる個人的な n 字のことを行う。
- 若者とオンラインで連絡を取る(ソーシャルメディア、電子メール、インスタントなど) メッセージングなど )or 彼らの家族、その接触が、その連絡先に関する情報を提供する ことでない限り、
  - s chool, または在籍する学生の学校の仕事に直接接続 (S オシアル Media P オリシーを参照してください。:
- 個人的な電子メールアカウントなどの個人的なコミュニケーションチャネル/デバイスを使用して、学生と連絡を取る。
- 電話番号、ソーシャルネットワーキングサイト、または個人のメールアドレスなどの個人の連絡先の詳細を学生と交換する。

#### ナザレ大学児童安全 C 行為の誓い

#### 紹介

子どもの安全行動規範には、受け入れ可能な行動と受け入れられない行動が記載されています。これは、専門的な境界、倫理的行動、受け入れ可能で容認できない関係の高レベルの声明を提供します。詳細なガイダンスについては、chools のタフと stdent プロフェッショナル境界ポリシーを参照してください。

個人が行動の期待について明確である場合、彼らはお互いと子供たちと適切に行動する可能性がはるかに高いです。誰もが行動規範とそれが支持することが非常に重要である理由について教育されると s、chool 環境ははるかに透明になり、人々は彼らの行動に対して責任を負います。 とりわけ、C ヒルド安全行動規範は、子供たちを危害から守るのに役立ちます。行動規範は、すべての学校の状況で適用されます。

子どもの安全行動規範は、以下の対象となります。

- 非教員、臨時スタッフ、カジュアルスタッフを含むすべてのスタッフ。
- ∇オルンティア(すべてのタイプの);
- 聖職者:
- 第三者の請負業者およびサービスプロバイダー(外部教育機関を含む)
- ナザレ諮問委員会のメンバー;
- 学校での配置に学生を教える:
- 訪問者:
- 子ども関連の仕事に関わる学校 Cの他のメンバーは.

#### 当社の子どもの安全行動規範

この子どもの安全行動規範は、すべての成人の学生に対する適切な行動基準を概説しています。この規範は、生徒を保護し、虐待や危害を加える機会を減らし、学校環境における児童の安全を促進するのに役立ちます。学生を最もよくサポートする方法と、困難な状況を回避



または管理する方法についてのガイダンスを提供します。職員がコードに違反した場合、ナ ザレ・カレッジは重大な違反、解雇の場合を含む懲戒処分を受ける可能性があります。

school は毎年コードをレビューします。ナザレカレッジは、私たちの chool C免疫内の子供関連の仕事に関与する学校 Cの免疫のすべての大人のための行動と境界の次の期待を持っています。これには、すべての教員、非教員、ナザレ諮問委員会のメンバー、ボランティア、第三者の請負業者、保護者、配置に関する学生、外部教育プロバイダーが含まれます。

ナザレカレッジは、スタッフ、ナザレ諮問委員会のメンバー、ボランティア、聖職者、第三者の請負業者を提供し、子どもの安全対策に定期的に取り組む機会を提供する子供の安全な学校です。これは、継続的なトレーニングと専門的な学習を通じて行われます。 ナザレ大学、スタッフ、ナザレ諮問委員会のメンバー、ボランティア、聖職者、第三者の請負業者は、閣僚令第870号に記載されているように、児童安全基準に関する専門的および法的義務を理解し、準拠しています。

#### 行う:

- 精神を支持し、ナザレ大学の使命と価値を守る:
- 学生にとってポジティブなロールモデルとして振る舞う。学生の安全、福祉、福祉の 促進
- 学生の安全と児童保護の問題に関しては、警戒と積極的にしてください。
- 学生に年齢に応じた適切な監督を提供する。:
- 児童保護に関して school が公表したガイドラインに従う。
- 他のスタッフが見えるエリアで学生と会う。
- すべての生徒を敬意をもって扱う。
- 障害を持つ学生の安全、参加、エンパワーメントを促進する。
- 言語的、文化的に多様な学生の文化的安全、参加、エンパワーメントを促進する。
- アボリジニとトレス海峡諸島民の学生の文化的安全、参加とエンパワーメントを促進する。



- 学生に対して肯定的で肯定的な言葉を使う。
- 生徒たちに自分の意見や懸念を表明し、敬意をもって彼らの意見を聞くように促す。
- 文化的、宗教的、政治的な違いを尊重する。
- すべての学生が交流し、交流するためのオープンで安全で協力的な環境を提供する 。
- 学生が他人に対するいじめ行為に従事したり、屈辱的または卑劣な方法で行動している ときに介入する。
- ナザレ大学コミュニティのメンバーがこの C オードの任意の側面に違反していると感じた場合は、ナザレカレッジ L イーダーシップ Team のメンバーにあなたの懸念を報告してください:
- 児童虐待の申し立てまたは開示が行われた場合は、関係する学生が安全であることをで きるだけ早く確認してください。
- 学生の安全に直ちに懸念がある場合は、000 に警察を呼んでください。
- 児童の安全に関する懸念を、校長補佐の信仰とウェルウェル、ウェルオンスのディレクター、またはカレッジカウンセラーに報告してください Child Safety Officers。
- 申し立てを報告する義務 R とすべての法的義務が満たされていることを確認してください。
- 学生とその家族のプライバシーを尊重し、知る必要がある人にのみ情報を開示する。
- カレッジのプライバシーポリシーに従って、すべての personal information を扱う。
- 学生とのコミュニケーションはすべて、ナザレカレッジの電子メールシステム(安全上の 懸念やその他の緊急の問題がない限り)を介して行われます。

#### できません:

- 学生に対する不適切な行為を行ったり、学生をそのような行為にさらしたりする。
- 偏見、抑圧的な行動、または不適切な言葉を学生の有無に使用する。
- 親の,指導の文脈で関連して発生する場合を除き、親密な性質の内容を議論したり、学生 の前で性的な暗示を使用したり、教育カリキュラムまたは治療環境を提供する。
- 障害、年齢、性別、人種、文化、脆弱性、セクシュアリティ、民族性のために子供を不利に扱う。



- 学生の前で大人の性質の不適切な議論に従事:
- 性的な暗示的なコメントをしたり、性的に暗示的な資料を共有するなど、学生との性的 行為の任意の形態に従事する:
- トイレや着替えなど、学生が自分で行うことができる個人的な性質の事を行うなど、不適切または不必要な身体的行為や行動に従事する。
- 不適切に荒い身体的な遊びを含む学生に対する身体的暴力の任意の形態に従事する;
- 学生を規律または制御するために物理的手段または体罰を使用する(学生の行動が自己または他人に身体的危害や危険の差し迫ったリスク/脅威をもたらす状況を除く- そのような行動は、状況において合理的であると考えられ、状況で対応するより少なかれ制限的な手段がない場合).
- 学生に深刻な感情的または心理的危害を引き起こす可能性のあるあらゆる形態の行動に 従事する。
- 好意(例えば、特定の学生のための贈り物や特別な扱いの提供)と見なすことができる 学生との「特別な」関係を開発する。
- 学生や家族からの不適切な贈り物を受け取る。 贈り物は、その価値、贈り物の性質、贈り物の理由などに基づいて不適切かもしれません。 スタッフが贈り物が不適切かどうか不明な場合は、児童安全責任者に相談する必要があります。
- あなた自身のチル d ではない学生と教育的な性質ではない未公開のプライベートミーティングに参加する。
- 他のスタッフには見えない地域の学生と二人き りでいるように。
- 学校の仕事や特別なcの骨の活動に関連するあらゆる状況で通信が合理的である場合、または安全上の懸念やその他の緊急事項がある場合を除き、個人的または私的な連絡先チャネル(ソーシャルメディア、電子メールなど)を介して学生と直接通信する。
- sのオチアメディア上の学生との任意のリンクを持っている:
- 開示が宣言されていない限り、親戚ではない学生と学校を出て交流する。
- (オンラインを含む)写真、映画、または親/保護者の同意なしに学生の記録を撮るか、公開する。



- 学校の方針に従う場合、または介護目的の義務のために必要な場合を除き、任意の個人的なフォーラムで(オンラインを含む)写真、映画または録音を撮影または公開する。
- 学校の方針に従って、または注意の義務のために必要な場合を除き、個人的に所有する デバイス(例えば、あなた自身の携帯電話、カメラや iPad)を使用して、学生の写真、ビ デオなどを撮影する。
- 自分の氏名、年齢、メールアドレス、電話番号、在留、一学校、または彼らが参加する可能性のあるクラブまたはグループの詳細など、生徒を特定できる学生に関する情報をオンラインで投稿する。
- 児童虐待の疑いや開示を無視または無視する。

#### 懸念事項を報告する

これらの基準を遵守することにより、a Nazareth Child Safety Officer スタッフ、ナザレ諮問委員会のメンバー、ボランティア、聖職者、第三者の請負業者、および当校に関連する他の C 免除メンバーは、この C オードの違反または子供が虐待を受ける可能性があるという懸念を直ちに報告する責任を認めます。 私たちの子供の安全担当者は、9795 8100 に電話するか、by 電子メール childsafety@nazareth.vic.edu.auで連絡することができます.

通信は「知る必要がある」という秘密裏に扱われ、すべての personal information は学校のプライバシーポリシーに従って処理されます。 スタッフ、ナザレ諮問委員会のメンバー、ボランティア、聖職者、第三者の請負業者がこの C オンダクトの C オードに違反した場合、ナザレ大学との雇用の終了または関与の停止を含む懲戒処分に直面する可能性があります。

子供が直ちに危険にさらされているという懸念があるときはいつでも、警察は 000 に連絡する必要があります。

この行動規範は 2020 年 9 月に見直されます。

私はナザレ大学行動規範を受け取り、読み、理解し、同意しました



| 名前  | ĵ:               | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
|-----|------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0 0 | 0                | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 0 | 0                | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 0 | 0                | 0 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 署名  | ı :              | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 0 |                  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 0 0 | 0                | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|     |                  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 日付  | · :              | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 0 | 0                | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 0 | 0                | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|     |                  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 位置  | :                | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 0 | 0                | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 0 | 0                | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|     |                  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| WW  | NWCC または VIT 番号: |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |

職員がナザレ大学児童安全行動規範に違反したり、学生との交流をカレッジリーダーシップに開示しなかった場合、ナザレ・カレッジは、ビクトリア朝のカトリック教育マルチエンタープライズ協定 2018 に従って重大な違反、要約解雇を含む懲戒処分を行う可能性があります。

#### 職員・学生の交流の開示



学校の外の学生との可能な相互作用の例として、次のようなものがあります。

- スタッフは a 学校に子供を持ち、その学校の友達が先生/子供の家に回ってくる。
- 学生に喜びを与えられる。
- 学生の両親や家族との友人;
- スタッフメンバーは地元のネットボールチームを指導する 学校の学生は、そのチームと他のチームの両方で競う コーチは、試合日まで他のチームの学生を認識していないかもしれません。
- スタッフは、学校の生徒が競っている観客として地元のスポーツの試合に参加し、学校の外の 生徒と交流する可能性のある状況の下にリストしてください。
- 利益相反を直ちに報告し、競合が特定された意思決定から自らを排除する。
- このポリシーに定められたガイドラインに従ってください。

ナザレカレッジは、学生とのやり取りや学生との関係に関連するスタッフによるすべての宣言の記録を保持します、学校の時間外または大学の敷地外に存在します。これらの記録は 7(7) 年間保存されます。

あなたは s chool 設定の外の学生との相互作用を持っている可能性があるすべての状況の下にリストしてください。

| 学生名 | 牧畜グルー | 学生との交流/s | 親は相互作用を認識 | 日付 |
|-----|-------|----------|-----------|----|
|     | プ     |          | している      |    |
|     |       |          |           |    |
|     |       |          |           |    |
|     |       |          |           |    |
|     |       |          |           |    |
|     |       |          |           |    |
|     |       |          |           |    |
|     |       |          |           |    |
|     |       |          |           |    |

| I_ |           | 、学生と <i>0</i>        | )既知のやり取り | )を記載した |
|----|-----------|----------------------|----------|--------|
| _  | ことを確認します。 | 私は自分の状況に何らかの変更がある場合、 | このリストを   | 更新します。 |



| 署名 d: |       |       |  |
|-------|-------|-------|--|
|       | Date: |       |  |
|       |       | Date: |  |

#### 子供に優しい version of o あなたの子供の保護と子供の安全ポリシー

ナザレ大学では、College のすべての学生のケア、安全、幸福に取り組んでいるため、 子供に優しいバージョンの児童保護と児童安全方針を持っています。

### 私たちの学校は何を大切にしていますかなぜあなたは私たちの学校で子供の安全が重要ですか?

ナザレ大学では、ナザレカレッジが College のすべての学生のケア、安全、幸福に取り組んでいるため、c ヒルドの安全性 C に関する方針 c があります。 このポリシーは、私たちのコミットメントを示し、ナザレ大学が学生をハ・rm から安全に保つために何をしているかの概要を示 r しています, 私たちの College 環境での虐待のすべての形態を含みます,キャンパスで,オンラインと College によって提供される他の場所で.このポリシーは、学校職員、ボランティア、請負業者、聖職者を含む学校職員に適用されます。

#### 彼は私たちの行動を導く重要なアイデアは何ですか?

ナザレ大学は次の通りだと信じています。

- すべての学生は、基本的権利として、あらゆる形態の虐待や無視から安全と保護に値します。
- 私たちの学校は、家族やCの免疫と協力して、意思決定プロセス、特に子供の安全と保護に 影響を与えるプロセスについて知っていることを確認します。
- すべての学生は、両親/保護者/介護者と協力して、個人の安全のあらゆる面で教育を受ける 権利を有します。
- 私たちの学校のすべての大人は、子供や若者の世話をし、積極的に彼らの幸福を促進し、あらゆる種類の害や虐待からそれらを保護する責任があります。
- 危害が疑われ、開示される状況に関わるすべての関係者は、感受性、尊厳、敬意と自信をもって扱われなければならない。
- すべての学生は、ナザレカレッジのスタッフが真剣に受け止めることを知って、子供の 安全に関する懸念を提起して自由に感じるべきです。
- 適切な機密性が維持され、法的または牧歌的に、権利または必要な情報を持つ人に提供されます。
- **C**学生のケア/幸福と保護のための**C**オンダクトの私たちの方針、ガイドライン、**C**のオードは、大人と子供と若者の間の正直で敬意と信頼の関係に基づいています。 **C**
- 私たちの政策と慣行は、教会、政府、Policeおよびヒューマンサービス機関との立法要件と cooperationの遵守を示しています。



### 私たちは学校のコミュニティにどのような誓約をしますか?

*私たちの学生*へのコミットメント:

- 私たちは、私たちの学校に在籍するすべての子供と若者の安全と幸福にコミットします。
- 私たちは、子供や若者に前向きで育てる経験を提供することを約束します。
- 私たちは、子どもや若者の意見を真剣に受け止め、彼らが私たちと一緒に提起する懸念に対処することによって、彼らに力を与えることにコミットします。
- 私たちは、子どもや若者が虐待や危害から保護されるように行動を起こすことにコミットします。
- 私たちは、子供や若者に、自分の安全と幸福を理解し維持するために必要なスキルと 知識を教えることにコミットしています。
- 安全な学校環境の構築に関する学生からの意見やフィードバックを求めることにコミットします。

### なぜ私たちの学校で働く大人のための行動規範があるのですか?

ナザレ大学児童安全行動規範は、カレッジのスタッフが私たちのケアの学生を保護する上で 果たす重要な役割を認識し、虐待や無視から保護するために、学校の従業員、ボランティア 、コンタクタ、および聖職者が子供たちとの適切な行動に対する明確な期待を確立します。

ナザレ大学で働く成人は、常に学生の安全を確保し、学校の子供の安全に懸念がある場合は 適切な行動を取ることが期待されています

行動規範を持つことは、すべての大学職員が関連する法律、および児童保護に関する方針と 手続きに精通し、すべての要件を遵守しなければならないことを意味します

子どもの安全に関わる話し合いと、学校の改善計画に学生はどのように関わっているのか? ナザレ大学では、すべての学生が自分の意見を公然と丁重に表現し、自分にとって重要なことを話すことを快適に感じることを積極的に奨励しています。 私たちは、安全でないと感じた場合に何ができるかを学生に教え、子供の安全を理解し、特定し、議論し、報告するのを助けます。 私たちは、学生 s またはその両親//保護者が私たちと一緒に提起する懸念に耳を傾け、行動します。

ナザレ C オレゲでは、児童虐待とは何かを学生が理解するのを助けます。 私たちは、彼らが懸念を報告する方法について学生を教育します。 参加とエンパワーメントは、牧歌的なケアと教育プログラムを通じて提供されるディスカッションやフォーラムを通じて教えられています。

懸念を報告する方法と教師はどのように対応するか。



虐待を受けたり、安全でないと感じたりした場合は、教師や私たちの学校の大人に伝えることができます。 すべての学校職員は、彼らの世話の下で任意の子供を保護する責任があります。 彼らはあなたを助けることができるでしょう。 誰かが虐待を受けたと思う場合、または安全でない場合は、信頼できる大人と話をする必要があります。 私たちの学校のスタッフは誰でも助けることができます。 信頼できる大人に伝えるように励まして、友人を助けてください。 あなたの友人が特に大人に言うなと頼んだとしても、あなたはまだすべきです。 あなたの友人が助けられ、保護されていると感じていることを確認することがより重要です。学校は、子供の安全上の苦情を記録します。 すべての学校職員は、彼らの世話の下で任意の子供を保護する責任があります。 あなたは助けになります。

- スタッフが、あなたの懸念に耳を傾け、あなたを助けます。
- 情報は、あなたが安全でないと感じさせている人と共有されません。
- 情報は、あなたをサポートし、保護できる人々とのみ共有されます。
- 場合によっては、あなたを助ける人々は、警察に伝えるために法律で義務付けされています. 保健福祉省(DHHS)児童保護サービスおよび/またはあなたの家族は、さらなる虐待、または虐待のリスクを防ぎます。

情報は、あなたを支援し、サポートし、保護できる人々とのみ共有されます。 それはあな たが安全でないと感じさせている人と共有されません。

### 私たちの学校で働くためにスタッフはどのように選ばれるのですか?

ナザレカレッジは、人を雇ったりボランティアを利用したりする際に、厳格なチェックプロセスを行っています。私たちの子供の安全へのコミットメントとチェック要件はすべての広告に含まれており、すべての新しいスタッフの応募者は、学校のChild Safety Pオリシーのコピーを提供されています。 スタッフとボランティアは、子どものクリアランスでの作業など、子どもの安全要件を引き続き満たしていることを署名する必要があります

# 学校のサポートスタッフは、どのようにして子どもの安全に関する知識を身に付けているのか?

すべての学校職員は、法律で義務付けられている私たちの子供の安全な報告ポリシーを提供されています。 トレーニングは、会議やオンラインコースでも提供されます。 毎年の学校研修プログラムの一環としてプレゼンテーションを行っています。

Our Schoolは、考えられるリスク、誰が関与しているか、次に何が起こるかを特定する方法を教えてください。

ナザレ大学では、学校環境全体で学生の安全を危険にさらす可能性のあるものを常に探し 求めることに取り組んでいます。 新しいリスクが見つかった場合は、それが修正され、将 来の計画で考えられることを確認するために文書に追加されていることを確認します。

### 私たちを助けるために他にどのような情報を使用しますか?

ナザレ大学には、C学生の安全を確保するために私たちのCの免疫を導くポリシーがあります。 以下は、当社が持っているポリシーの例です。

- 1) 児童保護と児童安全方針
- 2) 学校ガイドライン 警察とDHHSのインタビュープロトコル;
- 3) 行動規範ポリシー
- 4) 児童保護報告義務

ナザレ大学Cの免除またはより広いコミュニティのメンバーは、これらの文書へのアクセスのために校長室に連絡することができます。

#### 学校は方針と計画についてどのように皆に知らせるのですか?

カレッジは、さまざまな方法で皆に情報を提供し続けます:

- 大学のニュースレター;
- ポスター:
- 電子メール;
- アセンブリ:
- 親アクセス モジュール(PAM)
- 大学のウェブサイト;

#### いつこのポリシーを更新しますか?

このポリシーは、現在の立法要件を最新の状態に保つために毎年見直されます。



### 児童虐待のリスクを軽減または除去する

の多様性特性に応じて、特定のグループの

ナザレ College は、M のイニシャリアル Order 870 に従って、学校環境における子どもの安全を確保するためのリスク管理戦略を開発、実施、監視、評価します。

| <b>要件</b>            | <u>実装</u>                           |
|----------------------|-------------------------------------|
| 学校管理当局は、学校環境における子ども  | • リスクの開発と見直し                        |
| の安全に関するリスク管理戦略を策定し、  | 登録                                  |
| 実施しなければならない          | ● これは、児童安全委員会によって監視                 |
|                      | されています                              |
|                      | ● 子どもの安全会議の議事録                      |
|                      | ● プリンシパルは、理事会で子どもの安                 |
|                      | 全リスクに関する管理当局に通知しま                   |
|                      | <del>व</del>                        |
|                      | <ul><li>すべての会議で立っているアイテムに</li></ul> |
|                      | なる子供の安全                             |
| 児童の安全に関するリスク管理戦略は、各  | ● リスクレジスタは、訪問者、外部プロ                 |
| 学校環境の性質、その環境で行われる活動( | バイダー、請負業者などの特定のリス                   |
| 請負業者や外部組織によるサービスの提供  | クを特定します                             |
| を含む)、その環境に存在すると予想される | ● 学生ニーズの多様性を考慮                      |
| すべての子どもたちの特徴とニーズを考慮  | ● キャンプ、小旅行、学校のイベントな                 |
| して、学校環境における児童虐待のリスク  | ど、さまざまな環境が特定され、評価                   |
| を特定し、軽減する必要があります。    | されます。これらは別のリスク処置計                   |
|                      | 画を持っています (付録 B).                    |
| 学校管理当局が1つ以上の学校環境で起こ  | ● 記録は安全かつ機密に保管される                   |
| る児童虐待のリスクを特定した場合、当局  | <ul><li>リスクレジスタは、このようなリスク</li></ul> |
| はそれらのリスクを記録し、リスクを軽減  | をさらに軽減するために定期的に見直                   |
| または除去するために学校が取る行動(リス | されます                                |
| ク管理)を指定する必要があります。説明: | <ul><li>プリンシパルは、リスク管理と懸念事</li></ul> |
| リスクの性質やリスクの影響を受ける子供  | 項を管理機関に通知します。                       |



子供に対して異なるリスクコントロールが 必要な場合があります。

リスク管理戦略と実践の一環として、学校 管理当局はリスク管理の実施の有効性を監 視し、評価する必要があります。

- OHS 委員会はナザレのリスク管理を監督する
- 児童安全委員会は、OHS 委員会と協力 してリスクの特定、軽減、見直しを行 います。
- リスクレジスタは、定期的に児童安全 と OHS 委員会の会議で見直されます

少なくとも毎年、学校管理当局は、学校統治当局と学校職員の個々のメンバーに適切な指導と訓練が提供されることを確認する必要があります(約:

- 児童虐待のリスクを管理するための個 人および集団的義務と責任。
- 学校環境における児童虐待のリスク;そ して
- 学校の現在の子供の安全基準
- 毎年初めに学生が再開する前に、最初のスタッフミーティングでは、子どもの安全方針、役割や責任を含む手順と慣行の見直しが行われます。この会議で欠席したスタッフのための追加セッションが開催されます
- 緊急教師は、毎年開始する前に、子供 の安全に関する誘導を持っています。
- スタッフの誘導プログラムには、子供 の安全が含まれています
- 外部プロバイダーおよび請負業者は、 毎年行動規範に署名する必要があります。
- スタッフは、子どもの安全と関連する リスクに関する継続的なトレーニング と専門的な学習に参加します
- 子供の安全のための専門的な学習は、 毎年の学校全体の専門的な学習計画で 識別されます
- 児童安全担当者が、児童安全に関する 特定の専門的な学習およびネットワーク会議に出席
- 子どもの安全問題をフォローアップする手順を示すポスターは、教室、職員



| エリア、一般エリアに展示されていま                   |
|-------------------------------------|
| す。                                  |
| <ul><li>ニュースレターやスタッフ、親および</li></ul> |
| 学生ハンドブックの児童安全情報                     |



### ナザレ大学 - 児童安全 - リスクアセスメント

ナザレ・カレッジは、虐待から子供たちを守るための措置を講じています。しかし、我々は、特に学校のリスク管理戦略が閣僚令第 870 に定められたすべての児童安全要件を確実に満たすことに関して、できることは常に多いことを認める。

児童の安全に関するリスク管理戦略は、学校環境の性質\*、その環境での活動(請負業者や外部組織によるサービスの提供を含む)、その環境に存在すると予想されるすべての子どもたちの特徴とニーズを考慮して、学校環境における児童虐待のリスクを特定し、軽減する必要があります。

この結果、ナザレ大学は、ビクトリア州政府教育・雇用・訓練省とビクトリア朝の登録資格局(VRQA)の両方が提案する様々なリスク管理戦略を採用しています。これらの戦略は、

OH&S、児童安全行動規範、児童安全方針、その他の関連方針と組み合わせて使用するとともに、新たなリスクが生じた場合に最適な有効性を確保するために定期的に見直す必要があります。副校長 - 戦略的管理は、様々な教育環境にわたって児童安全リスク評価プロトコルをナビゲートする方法に関する専門的な開発、トレーニング、ガイダンスをスタッフに提供することを保証する責任があります。

ナザレ大学は、閣僚令が標準 6 に関する学校に対して次の要件を規定していることを理解しています。

- 1. 学校管理当局は、学校環境における子どもの安全に関するリスク管理戦略を策定し、実施する必要があります。
- 2. 児童の安全に関する学校のリスク管理戦略は、各学校環境の性質、その環境で行われる 活動(請負業者や外部組織によるサービスの提供を含む)、その環境に存在すると予想さ れるすべての子どもたちの特徴とニーズを考慮して、学校環境における児童虐待のリス クを特定し、軽減しなければならない。
- 3. 学校管理当局が1つ以上の学校環境で起こる児童虐待のリスクを特定した場合、当局は それらのリスクを記録し、リスクを軽減または除去するために学校が取る行動(リスク 管理)を指定する必要があります。
  - 説明ノート different リスクコントロールは、リスクの性質とリスクの影響を受ける子供の多様性特性に応じて、子供の特定のグループに必要な場合があります。
- 4. リスク管理戦略と実践の一環として、学校管理当局はリスク管理の実施の有効性を監視し、評価する必要があります。
- 5. 毎年、学校管理当局は、学校統治当局の個々のメンバーと学校職員に対して、以下について適切な指導と訓練を提供する必要があります members。
  - 児童虐待のリスクを管理するための個人および集団的義務と責任。
  - 学校環境における児童虐待のリスク;
  - 学校の現在のCヒルドSアフェティSタンダーズ。

### 児童虐待のリスクを特定し、軽減または除去するプロセス



ナザレ大学でのリスク管理には、通常、次の手順と考慮事項が含まれます。これらのガイドラインは、リスクを最小限に抑える VRQA チェックリスト(付録 1)に従って利用される予定です。

- リスクアセスメントマトリックスを使用して、遠足、キャンプ、オンラインなど、さまざまな学校環境にわたる子どもの安全リスクを特定します。(このドキュメントの一番下にあります);
- 既存のリスク軽減対策または内部統制を特定する。
- リスクの可能性とリスクの可能性を考慮して、既存の管理を考慮して、学校の子供の安全リスクを評価し、評価します。
- リスク評価が「許容レベル」を超える場合は、追加の制御またはその他の予防、検出、 または軽減戦略を通じて、さらなるリスク管理戦略を特定し、リスクを再評価します。

リスク管理プロセスが定期的に文書化、記録、およびレビューされるようにすることは、副校長 - 戦略的管理の責任です。効果的なリスク管理戦略は、新しいリスクが発生し、他のリスクがもはや関連しなくなると、時間の経過とともに動的で変化します。ナザレ大学の運営団体は、効果的なリスク管理戦略は、いくつかの活動の特定の性質と特定のグループの脆弱性に関連するリスクのレベルの増加を考慮するために、透明性、よく理解され、多様である必要があることを理解しています。大学のリスク管理戦略は、大学のイントラネットを介してアクセスできるようになります.

#### リスクアセスメント

効果的なリスク管理には、特定された各リスクの可能性と結果を考慮して、体系的に特定された子どもの安全リスクを評価するプロセスが含まれます。

- 子どもの安全上のリスク-場所、イベント、または状況が学校環境の子供や若者に危害や困難を引き起こす可能性がある可能性があります。
- **尤度** はリスクが発生する可能性を意味します。
- **結果**は、リスクが実際に発生した場合の害の程度を意味します。

このプロセスは、特定された子どもの安全リスクに関するできるだけ多くの情報を収集し、それが子供にどのような悪影響を及ぼすかを考えるのに必要です。質的リスク評価表 (下記参照) などのリスクマトリックスの使用は、リスクの深刻度の確立に役立つ可能性があります。

#### 潜在的な子どもの安全リスクとリスク管理戦略

以下は、潜在的な児童安全リスクと、本学が概説する適切なリスク管理戦略のリストを含む。これらのリスクは、子の安全基準リスク評価テンプレートを使用して特定されています。 これらのリストは、網羅的なものではありません。



ナザレカレッジ

児童保護・安全ポリシー

P4.8



## チャイルドセーフスタンダード 6:リスクレジスタ

| リスクイベントまたは環境                     | 既存の管理戦略または内部統制  | 発生の可能性 | 結果<br>発生した場合 | 現在のリス<br>ク評価 | 既存のコントロ<br>ールの有効性 | 誰が責任を負うので<br>すか? |
|----------------------------------|---|--------|--------------|--------------|-------------------|------------------|
| 子どもの安全に関する<br>組織的文化なし            | <ul> <li>児童安全行動規範</li> <li>子どもの安全文化を埋め込むための戦略</li> <li>子どもの安全に関する組織的文化を埋め込むための戦略を見直す</li> <li>子どもの安全に対するコミットメントの声明は、ウェブサイト上で一般に公開されています</li> <li>誘導手順の更新</li> <li>子どもの安全に関する継続的な議題項目を含む、年間を通じて予定されている理事会</li> </ul>             | 低い     | 重度           | 高            | 満足                | プリンシパル、正規<br>管理者 |
| 不適切な行動は報告されず、対処されない              | <ul> <li>児童安全行動規範</li> <li>子どもの安全報告手順を明確にする</li> <li>パフォーマンス管理手順</li> <li>プロフェッショナル境界手順</li> <li>不適切な行動を検出するように学生とスタッフを訓練する</li> <li>子どもの安全に関する組織的文化を埋め込むための戦略を見直す</li> <li>スタッフ向けのリフレッシュトレーニングーeラーニング必須レポートモジュールを参照</li> </ul> | 低い     | 重度           | 高            | 満足                | プリンシパル、正規<br>管理者 |
| 長期従業員、請負業<br>者、規範に対する疑<br>いのない信頼 | <ul> <li>子どもの安全文化を埋め込むための戦略</li> <li>子どもの安全報告手順(保護、報告可能な行動スキーム)</li> <li>スタッフ向けのリフレッシュトレーニングーeラーニング必須レポートモジュールを参照</li> <li>報告可能な業務の開発と読書</li> <li>パフォーマンス管理手順</li> </ul>  | 可能性    | 主要           |              | 満足                | プリンシパル           |



| 不適切な募集人                                  | <ul> <li>WWCC またはビクトリア朝教育研究所の登録</li> <li>子どもの安全に関する候補者と質問の参照チェック</li> <li>アームズ</li> <li>ナザレ大学求人応募用紙</li> </ul>   | 低   | 主要   | 高   | 満足 | 校長/副校長                        |
|--|--|-----|------|-----|----|-------------------------------|
| 敷地内のアドホック請負<br>業者<br>( <b>例</b> :メンテナンス) | <ul> <li>子どもの安全な環境</li> <li>来場者、ボランティア、請負業者に関する情報と意識</li> <li>十分な監視</li> <li>サインイン手順</li> <li>すべての訪問者のための WWCC とそうでない人の一貫した監視</li> <li>すべての訪問者、スタッフ、ボランティア、請負業者のための誘導</li> </ul> | 低い  | 主要   | 中程度 | 満足 | プリンシパル/副校<br>長/ビジネスマネー<br>ジャー |
| オンラインでの子どもと<br>の関わり                      | <ul> <li>E-Smart 認定(進行中)</li> <li>デジタルデバイスポリシー</li> <li>行動規範</li> <li>プロフェッショナル境界ポリシー</li> </ul>   | 可能性 | 中程 度 | 高   | 満足 | プリンシパル/副<br>校長                |
| 教師なしの他の 1 人の人<br>と一人で子供                  | <ul> <li>活動の監督または監視</li> <li>ホットスポットの窓のガラス</li> <li>子どもの安全報告手順を明確にする</li> <li>「ホットスポット」エリアの CCTV</li> <li>子どもの安全リスクに対する新規または変更された物理環境の評価</li> </ul>                              | 低   | 中程 度 | 中程度 | 満足 | プリンシパル                        |
| 教師なしのレクリエーションまたはその他の活動                   | <ul><li>児童安全行動規範</li><li>子どもの安全文化を埋め込むための戦略</li><li>活動の監督または監視</li><li>子どもの安全報告手順を明確にする</li></ul>  | 低   | 中程 度 | 中程度 | 満足 | リーダーシップチ<br>ーム                |
| 不明な個人的な問題によ<br>る職員と学生の脆弱性                | <ul> <li>カウンセリングとウェルイングサポート</li> <li>児童安全行動規範</li> <li>スタッフ向け EAP</li> <li>プロフェッショナル境界ポリシー</li> <li>パフォーマンス管理手順</li> <li>報告可能な行動スキーム</li> <li>児童安全行動規範</li> </ul>                | 可能性 | 中程 度 | 高   | 満足 | 校長・スタッフ                       |



|                                 | <ul><li>プロフェッショナル境界ポリシー</li></ul>  |    |      |     |    |   |
|---------------------------------|--|----|------|-----|----|---|
| 虚偽の申し立て                         | <ul><li>子どもの安全文化を埋め込むための戦略</li><li>活動の監督または監視</li><li>カウンセリングその他のリソース</li></ul>  | 低  | 中程 度 | 中程度 | 満足 | プリンシパル、正<br>規管理者、スタッ<br>フ               |
| 遠足やキャンプでの未知<br>の人と環境            | <ul> <li>児童安全行動規範</li> <li>子どもの安全文化を埋め込むための戦略</li> <li>子どもの安全報告手順を明確にする</li> <li>リスクアセスメントを含むキャンプとエクスカーションの手続きとポリシー</li> <li>子どもの安全リスクに対する新規または変更環境の評価</li> <li>すべての学校のコンテキストでコードと戦略が適用されることを確認します。</li> <li>活動の監督または監視</li> </ul> | 低い | 中程 度 | 中程度 | 満足 | プリンシパル、取<br>締役会、リーダー<br>シップチーム、ス<br>タッフ |
| 敷地内のアドホック請<br>負業者<br>(例:メンテナンス) | <ul> <li>子どもの安全な環境 訪問者、スタッフ、ボランティア、請負業者に対する情報と意識</li> <li>十分な監視</li> <li>サインイン手順</li> <li>すべての訪問者のための WWC とそうでない人の一貫した監視。</li> <li>すべての訪問者、スタッフ、ボランティア、請負業者のための誘導</li> <li>活動の監督または監視</li> </ul>                                   | 低い | 中程 度 | 中程度 | 満足 | プリンシパル、<br>ビジネスマネー<br>ジャー/管理スタ<br>ッフ    |
| 学校の敷地内の不明な<br>人々                | <ul> <li>正しい訪問者のステッカーなしで訪問者にアプローチするための手順でスタッフのトレーニング</li> <li>学校へのすべての訪問者は、iPad で学校のサインインを介してサインインし、常に訪問者のステッカーを表示する必要があります。ヤードデューティスタッフは常に警戒する必要があります。</li> </ul>   | 低  | 中程 度 | 中程度 | 満足 | 全スタッフ                                   |



|   | <ul><li>インシデントが発生した場合は、カトリック教育メルボルンの手順に従ってください。</li></ul>   |     |      |     |    |       |
|---|---|-----|------|-----|----|-------|
| 学校のすぐ近くにいる<br>未知の人々 - 従事しよう<br>とする、子供たちとー<br>緒にいる、子供を見て   | <ul> <li>校長および/またはリーダーシップチームに報告する<br/>現在の学校の手順に従ってください</li> <li>スタッフメンバー/プリンシパル/リーダーシップチー<br/>ムは、個人にアプローチし、彼らが誰であるかにつ<br/>いて問い合わせるために</li> </ul>  | 低   | 主要   | 高   | 満足 | 全スタッフ |
| いる、または写真を撮<br>ろうとしている   | <ul><li>すべての子供を害から取り除く</li><li>違法/有害な発生が発生した場合は警察に電話してください</li><li>CEM の手順に従ってインシデントを報告する</li></ul>   |     |      |     |    |       |
| 学生は、彼らが家族や<br>他の個人によって被害<br>を受けたことを示して<br>学校に来ます  | <ul> <li>毎年、必須報告ガイドラインのトレーニングを受けたスタッフ</li> <li>4つの重要なアクション手順に従う</li> <li>ナザレ大学での報告手続きに従う - 児童安全責任者に報告する</li> <li>カトリック教育事務所に事件を報告する - ウェルオンデューティオフィサーと保護テンプレートに関する文書</li> </ul>   | 低   | 中程 度 | 中程度 | 満足 | 全スタッフ |
| <ul> <li>追加のニーズを持つ学生は、学校に登録されています</li> <li>例えば。</li> <li>・ 障害のある学生</li> <li>・ ATSI 出身の学生</li> <li>・ CALDバックグラウンドの学生</li> <li>・ 健康問題のある学生</li> </ul> | <ul> <li>児童安全/ウェルヴィス・オフィサー/カウンセラー/<br/>ラーニング・ダイバーシティ・リーダーに知らせる</li> <li>受講者のニーズによっては、次のことが発生する場合があります。</li> <li>学生の学習調整が必要なことについて保護者とのディスカッション</li> <li>CEM 言語療法士の CEM 心理学者等の支援に関する評価の紹介</li> <li>以前の教育プロバイダとの接触</li> <li>NCCD および/または CEM からの資金調達のためのアプリケーション</li> </ul> | 可能性 | 中程 度 | 高   | 満足 | 全スタッフ |



| ● 行動に問題があ<br>る学生                       | • 行動上の課題を抱える学生*児童安全方針、ウェルウェルスポリシー、関連ポリシーに従う   |     |      |     |    |              |
|--|---|-----|------|-----|----|--------------|
| 学生は危険な行動で表示<br>します                     | <ul> <li>義務報告義務の訓練を受けたスタッフ</li> <li>ウェルウェルスポリシーに従う</li> <li>子どもの安全方針に従う</li> <li>カウンセリングその他のサポート</li> <li>ナザレ大学での報告手続きに従う - 児童安全責任者に報告する</li> </ul>   | 低   | 中程 度 | 中程度 | 満足 | 全スタッフ        |
| リスク管理の実施の有効<br>性を評価する監視を行わ<br>ない学校管理機関 | <ul> <li>チャイルドセーフアクションプランの実施</li> <li>継続的な取締役会</li> <li>取締役会での立ち上がった議題</li> <li>スタッフ会議での立ち上がった議題</li> </ul>   | 低   | 中程 度 | 中程度 | 満足 | 正規管理者/プリンシパル |
| 生徒は学校で負傷している      授業中     休憩中          | <ul> <li>レベル2の応急処置と CPR で訓練を受けたすべてのスタッフ</li> <li>アナフィラキシーと喘息で訓練を受けたすべてのスタッフ</li> <li>現在の応急処置の方針と手続きで訓練を受けたすべての教師</li> <li>フルタイムの資格を持つ応急処置担当者</li> <li>シックベイ、スタッフルーム、ナザレカレッジビルにある応急処置バッグ</li> <li>応急処置用品と EpiPen がオフサイト活動のための勤務教師とバムバッグ</li> <li>実施中の政策 - 応急処置,アナフィラキシーと喘息,OH&amp;S</li> </ul> | 可能性 | 低    | 中程度 | 満足 | 全スタッフ        |





### <u>子どもの安全リスク登録</u>

テンプレートの実装と使用の詳細については、<u>デウチ・デヴ・デヴ・デ・ス・デ・ス・デ・ス・ヴル</u>

- Likelihood means the chance of the situation or event occurring.
- Consequence means the extent of the harm/impact should it actually occur.

|            |                   |               | RISK LEVEL | MATRIX   |         |         |
|------------|-------------------|---------------|------------|----------|---------|---------|
|            |                   |               | Consequ    | ience    |         |         |
|            |                   | Insignificant | Minor      | Moderate | Major   | Severe  |
| Б          | Almost<br>Certain | Medium        | High       | Extreme  | Extreme | Extreme |
| Likelihood | Likely            | Medium        | Medium     | High     | Extreme | Extreme |
| Like       | Possible          | Low           | Medium     | Medium   | High    | Extreme |
|            | Unlikely          | Low           | Low        | Medium   | Medium  | High    |
|            | Rare              | Low           | Low        | Low      | Medium  | Medium  |

#### Appendix B: Risk Treatment Plan

| Risk Treatment Plan                           | for: |
|---|------|
| Risk Owner:                                   |      |
| Date:   |      |
| Description of<br>Risk:                       |      |
| Controls and<br>Actions to<br>Mitigate Risks: |      |
| Resources<br>Required:                        |      |
| Responsibilities and Task Owner/s:            |      |
| Monitoring and Reporting:                     |      |



### 関連ドキュメント

このポリシーは、子どもの安全と福祉に関するナザレ大学の他の方針と手順と一緒に読む必要があります,児童保護 – C オンダクトのコード,児童保護 – 報告義務,チャイルド P ロテクション and 児童安全, 牧歌的ケアポリシー,子供と一緒に作業 ポリシー.

#### 児童保護と児童安全方針の見直し

ナザレ大学では、私たちは子供の安全システムと実践の継続的な改善に取り組んでいます。 このポリシーは、法律や状況の変化に対応するために、実際に機能し、更新されていること を確認するために定期的に見直される動的な文書であることを意図しています。当社は、ポ リシーの更新履歴を保持します。

ナザレ大学は、私たちの児童保護プログラムとポリシーの継続的な改善に取り組んでいます。ポリシーは、全体的な有効性を確保し、すべての児童保護関連の法律、規制および基準の遵守を確保するために定期的に見直されています。これらの方針は少なくとも3年ごとに見直される予定であり、学生、保護者、保護者、スタッフ、ボランティアからのフィードバックを求めることを引き受けています。

### 参照

- 1. 宗教やその他の非政府組織による児童の性的虐待の取り扱いに関するビクトリア州議会の調査、最終報告書、信頼の裏切り、2013年11月。
- 2. 犯罪改正(児童保護)法 2014、オンライン <u></u>
  http://www.austlii.edu.au/au/legis/vic/num\_act/caoca201436o2014417
- 3. 子ども・青少年・家族法(Vic) 2005 年
- 4. 児童の幸福と安全改正法 2015(Vic)
- 5. 犯罪法 1958 (ヴィック)
- 6. 家族法 1975 年(Cth)
- 7. 教育訓練改革改正(児童安全学校法 2015(Vic)
- 8. 間違った改正(オーニゼーション児童虐待)法 2016(Vic)
- 9. 宗教やその他の非政府組織による児童の性的虐待の取り扱いに関するビクトリア州議会の調査、最終報告書、信頼の裏切り、2013年11月。
- 10. 教会の奉仕における誠実さ,オンライン,https://www.catholic.org.au/documents/1345-integrity-in-service-of-the-church-1
- 11. DEECD と DHS 2010、子どもと若者の安全と幸福を保護し、ヒューマンサービス児童保護省、教育と幼児発達省、認可された児童サービスとビクトリア朝の学校の共同プロトコル。
- 12. 子どもとの仕事法(Vic) 2005 http://www.austlii.edu.au/au/legis/vic/consol\_act/wwca2005232/



- 13. ビクトリア株式会社(CECV)のカトリック教育委員会 2016、 児童安全へのコミットメント声明:カトリック学校のすべての子供と若者のための安全で育成文化
- 14. ビクトリア株式会社のカトリック教育委員会(CECV)2018、ビクトリア朝カトリック教育マルチエンタープライズ契約 2018、CECV。, CECV.
- 15. カトリック教育のための会衆 1997, 第三千年紀のしきい値にカトリック学校, バチカン.
- 16. 安全な学校ハブ 2014, 国立安全な学校フレームワーク用語集, 教育訓練のオーストラリア政府の部門.
- 17. ビクトリア州 2016、 児童安全基準 学校における児童虐待のリスク管理:
- 18. 閣僚令第870、教育訓練改革法2006、ビクトリア州政府官報第1S2.
- 19. ビクトリア州政府司法省 2016、 信託実施の裏切り